落の動向を考える上で重要である。今後付近において調査が行われれば、より詳しい状況が判明するものと期待される。

4．弥生後期

今回の調査において、弥生時代後期の集落を囲む二重の環濠が確認されたことは、大きな成果である。

土器の時期

この時期の遺物は、土器類を中心に環濠内、住居址等から多量に出土した。これらの遺物の時期については、これまで詳しく述べていないが、以下出土した土器から、時期を考えたい。まず、内側環濠であるＳＤ０１第３層の土器群から出土した土器について見る。壷のうち、広口壷については体部が中位で膨らむ扁球形のものが多く、球形化には至っていない。また、二重口縁壷も見受けられず、大型の長頸壷194も残っている。やや小型の長頸壷195は、肩部と口頸部との境の屈曲は明瞭である。甕についてみると、器形はほとんどのものが、体部上半に最大径をもつものである。また外面の調整についてみると、202や203のように外面全面をハケ等でタタキの痕跡を消すものが存在し、またそれ以外の甕でも体部外面下半をハケもしくはナデによってタタキの痕跡を消すものが多い。また、口縁端部は面を持つものがほとんどである。高坏についてみると、脚部はすべて中空のもので、中実のものは存在しない。また、坏部に稜を持つタイプのものでは、口縁部が短くまた外反度も少ない。以上の特徴から、後期前半のうちの新しい段階に位置付けられる。このことは、高坏239が高槻市芝生遺跡大溝上層出土の高坏[11]と同じ形態であり、この芝生遺跡大溝上層の土器は森田氏の編年[12]による摂津Ｖ－３に位置付けられていることからも齟齬はない。

次に、住居址出土の土器について見ると、まとまって遺物が出土したのは、ＳＢ０１・ＳＢ04・ＳＢ０８であるが、ＳＢ０４では細頸壷112が見られる。また、高坏の脚部も中実のものが存在する。ＳＢ０４では、坏部に稜を持つ高坏の口縁部はＳＤ０１に比べ外反度が大きい。ＳＢ０８では、手焙形土器158が存在し、長頸壷143は体部と口頸部の境は緩やかである。これらの諸特徴から、これらの竪穴住居の土器は、後期後半の初頭に属すると考えられ、森田氏の編年のⅥ－０からⅥ－１の時期に位置付けられる。

ＳＤ０１第３層出土の土器は、ＳＤ０１が半分程度埋まった状態での出土状況であることから、ＳＤ０１が掘られた後、暫く経過した時期のものである。また、竪穴住居から出土した土器は住居の廃絶時期ないしは廃絶後少し時間が経過した後に入れられたものである。以上のことから、熊内遺跡における弥生時代後期の環濠集落は、後期前半の中ごろから新しい時期に始まり、後期後半の早い段階でその営みを停止したものと考えられ、比較的短期間の集落と言える。

集落域の復元

熊内遺跡内においては、今回の調査地の東側でこの時期の竪穴住居等が発見されており、集落域が東に広がることは確認されていた。また、第2次調査で確認された溝ＳＤ－０１[13]を今回見つかったＳＤ０１と同一のものとすると、この環濠は等高線にほぼ沿って円弧を描いている。明治期の地形図や、現状の地形を見ると、扇状地の頂部は今回の調査地の東、約100ｍぐらいのところにあるようである。この頂部を集落の中心と考え、ほぼ等高線に沿って環濠が掘られたとすると、熊内遺跡は直径約200～300ｍの環濠集落に復元される。

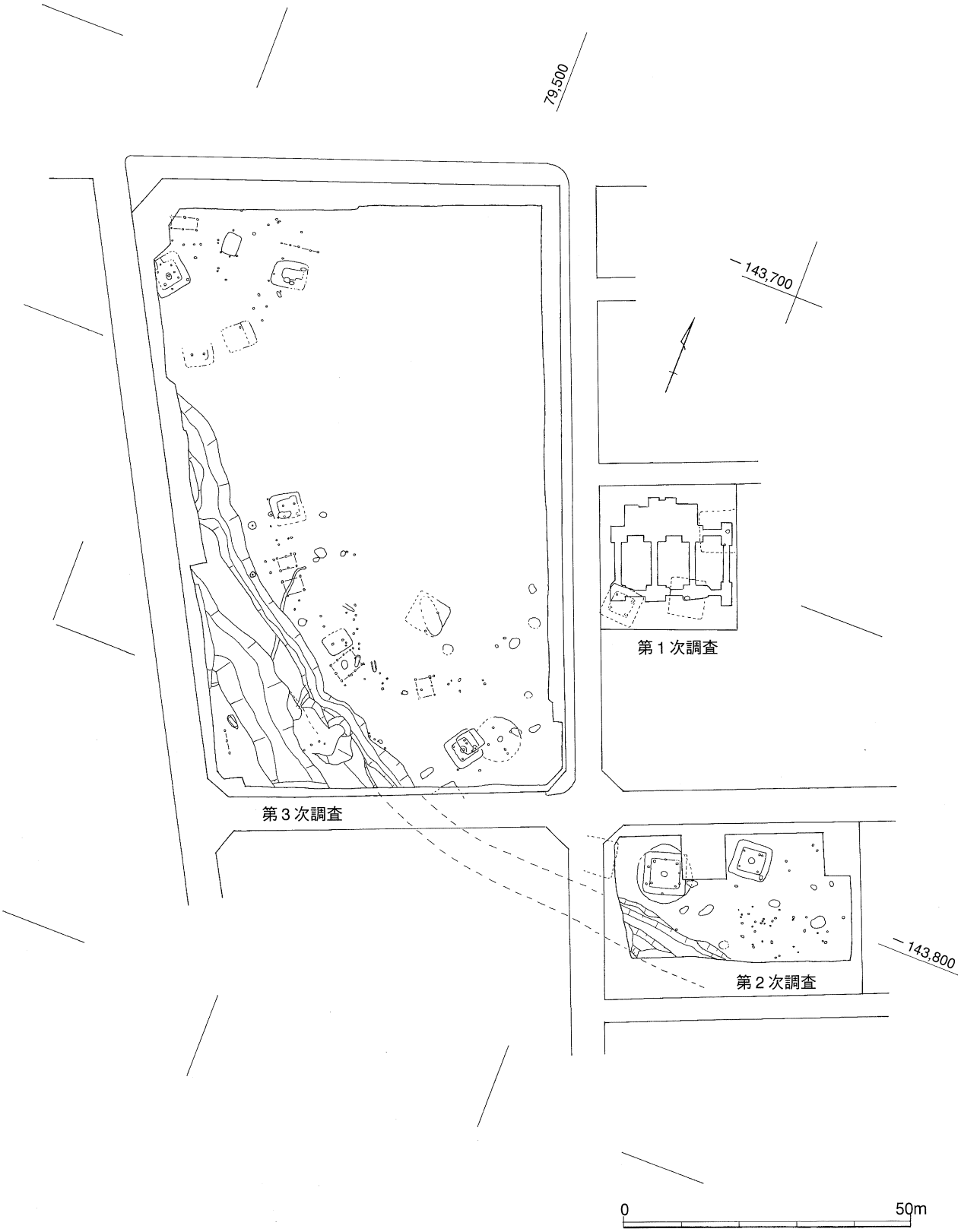


fig.103　熊内遺跡の既往の調査全体図

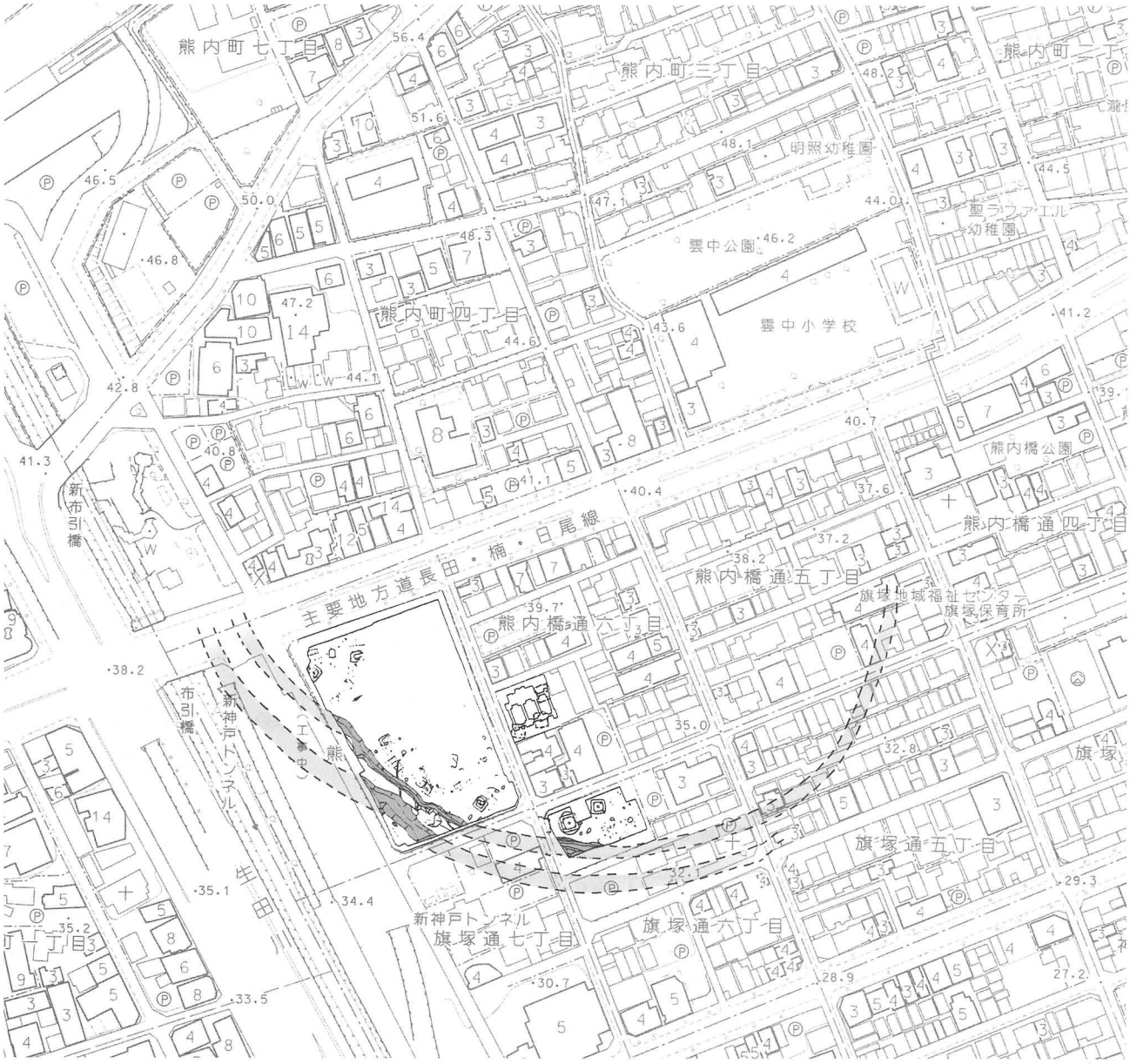


fig.104　環濠の復元（S=1/2500）

5．古墳時代前期

今回の調査では、熊内遺跡内では初めて古墳時代前期の竪穴住居も確認された。この時期の竪穴住居は、弥生時代後期に比べると住居間の距離が離れており、散在的に存在する。時期はＳＢ１１・ＳＢ０７は布留式の古段階、ＳＢ０５は布留式の中段階と考えられ、４世紀の初めから中頃にかけての集落であると考えられる。

6．古墳時代後期

古墳時代後期の遺構として、土壙墓・木棺墓が合計４基確認された。これらの墓は地表面に直接墓壙を掘り込み、盛土や周溝等の外表施設は伴わないものである。熊内遺跡の西側にはかつて横穴石室を主体部とする二宮町古墳群[14]が存在した。このことから、墳丘を持った古墳を造る区域と墳丘を持たない墓の区域が分かれていたと考えられる。このことは、その被葬者のなんらかの差異を表していると考えられ、この地域の古墳時代後期における墓制を考える上で今後の課題となる。

Ⅱ（－5．－10を除く）・Ⅲ　註

(1) 縄文時代中期末から後期の土器については、矢野健一氏、丹治康明氏、中村大介氏、平田朋子氏からご教示いただいた。記して深謝いたします。

(2) 高松龍暉ほか「小路頃才ノ木遺跡」『兵庫考古』17　1982

(3) 玉田芳英「中津・福田ＫⅡ式土器様式」『縄文土器大観　4　後期　晩期　続縄文』1989小学館

(4) 岩崎二郎「仏並71－ＯＤの縄文土器」『(財)大阪府埋蔵文化財協会研究紀要』1　1988（財）大阪府埋蔵文化財協会
千葉　豊「西日本縄文後期土器の二三の問題－瀬戸内地方を中心とした研究の現状と課題－」『古代吉備』　第14集　1992

(5) 田辺昭三『陶邑古窯址群Ⅰ』　1966　平安学園考古学クラブ
田辺昭三『須恵器大成』　1981　角川書店

(6) 鉄鏃の形式名は杉本秀宏氏の分類による
杉本秀宏「古墳時代の鉄鏃について」『橿原考古学研究所論集8』1988吉川弘文館

(7) 浅岡俊夫編『神戸市東灘区　西岡本遺跡』2001六甲山麓遺跡調査会

(8) 安田滋・藤井太郎「雲井遺跡　第4次調査」『平成３年度神戸市埋蔵文化財年報』1994神戸市教育委員会

(9) 矢野健一「兵庫県の縄文時代住居の概要」『第1回関西縄文文化研究会　関西の縄文住居　発表要旨・資料集』1999関西縄文文化研究会

(10)『第1回関西縄文文化研究会　関西の縄文住居　発表要旨・資料集』1999関西縄文文化研究会

(11) 森田克行「摂津地域」『弥生土器の様式と編年　近畿編Ⅱ』1990木耳社

(12) 註（11）と同じ

(13) 浅岡俊夫編『神戸市中央区熊内遺跡－第2次調査－』1996六甲山麓遺跡調査会

(14) 木村次雄・小林行雄「釵子發見の神戸市生田町古墳」『考古学雑誌』第20巻第6号　1930　考古学会

表12　熊内遺跡石材鑑定一覧表

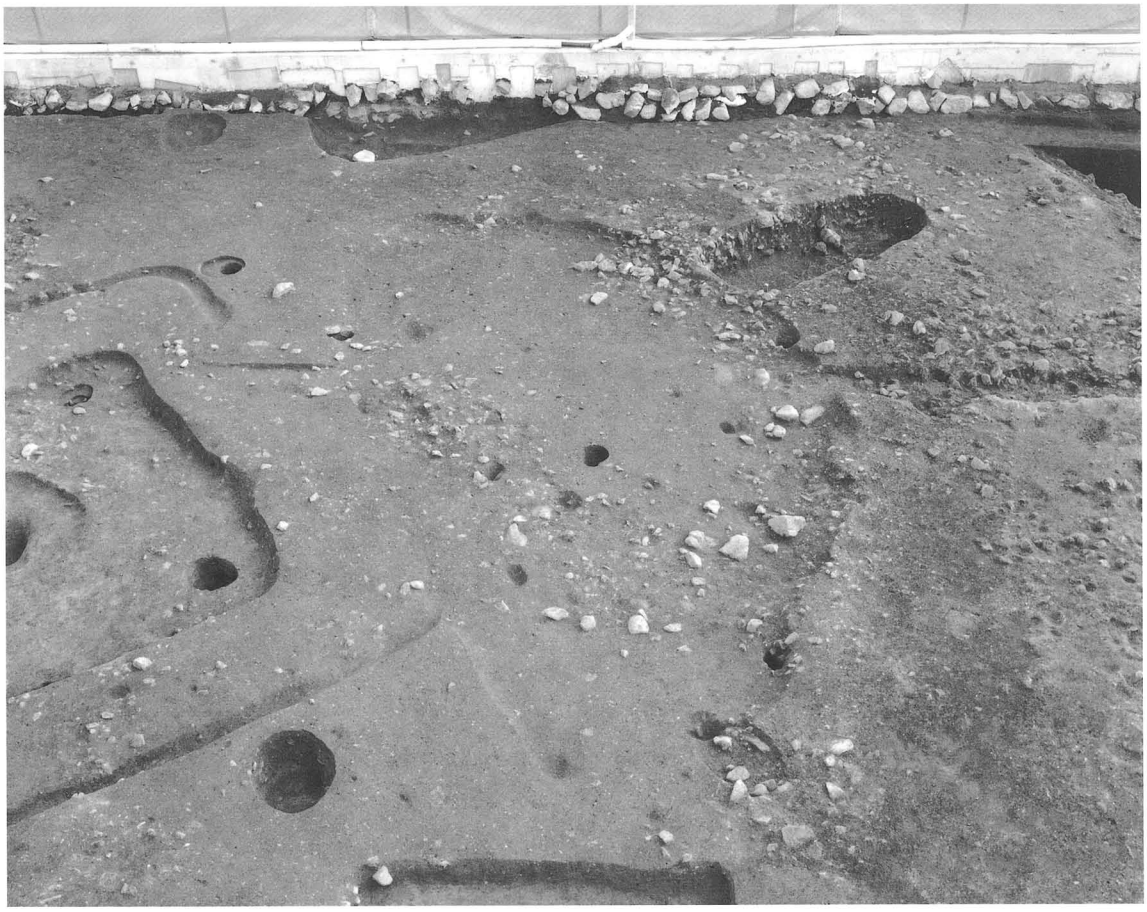
遺物番号	R番号	出土地区	出土層位	遺物名	空中重量（g）	水中重量（g）	体積（cm3）	比重	石材名
98	R-997	C-3	SK334	磨石	240.6	154.8	85.8	2.8	閃緑岩
119	R-384	D-8	SB01	台石	17640	10880	6760	2.61	花崗閃緑岩
138	R-308	F-10	SB04	砥石	1061.9		440	2.41	砂岩
161	R-587	A-2	SB08　上層	投弾	209.3	138.6	70.7	2.96	斑レイ岩
160	R-590	A-2	SB08　上層	投弾	257.6	161.3	96.3	2.67	閃緑岩
162	R-772	A-2	SB08	投弾	159.6	100.3	59.3	2.69	閃緑岩
	R-612	B-3	SB10　下層		18	11.1	6.9	2.61	流紋岩
	R-1011	B-3	SB10	台石	16240	10020	6220	2.61	斑状花崗閃緑岩
181	R-1012	F-11	SB13	台石	9120	5580	3540	2.58	花崗岩
259	R-134	D-10	SD01　第１層	磨石	161.2	95.9	65.3	2.47	砂岩
261	R-385	D-10	SD01　第２層	台石	6440	3800	2640	2.44	花崗閃緑岩
	R329-1	B-5	SD01　第２層		34.5	21	13.5	2.56	砂岩
	R329-2	B-5	SD01　第２層		1.8				スコリア
	R-766	E-11	SD01　第３層		68.4	42.3	26.1	2.62	砂岩
257	R-445	D-10	SD01　第２～３層	磨石	665	413.5	251.5	2.64	斑状花崗閃緑岩
258	R-467	C-8	SD01　第３層	磨石	552.3	353.7	198.6	2.78	閃緑岩
255	R-469	B-7	SD01　第３層下半	砥石	1352.2		484	2.79	閃緑岩
260	R-397	D-10	SD01　第４層	磨石	157.2	103.2	54	2.91	斑レイ岩
256	R-477	C-8	SD01　第４層	磨石	535.2	319.8	215.4	2.48	砂岩
	R-829	E-11	SD01		1.8				軽石
295	R-368	D-10	SD05　第２層		80.7				スコリア
296	R-279	B-10	SD05　第５層	砥石	77.2	52.4	24.8	3.11	結晶片岩
	R-783	B-7・8	SD05　第５層	砥石	294.8	171.6	123.2	2.39	砂岩
	R-280-1	B·C-9·10	SD05　第５層	磨石	1930		734	2.63	斑状花崗閃緑岩
	R-280-2	B·C-9·10	SD05　第５層	磨石	1513		540	2.8	閃緑岩
	R-280-3	B·C-9·10	SD05　第５層	磨石	1968		736	2.67	花崗閃緑岩
	R-280-4	B·C-9·10	SD05　第５層	磨石	2104		792	2.66	花崗閃緑岩
	R-280-5	B·C-9·10	SD05　第５層	磨石	109.7	67.5	42.2	2.6	花崗岩
302	R-526	C-3	黒褐色細砂	投弾	28.9	17.6	11.3	2.56	砂岩
303	R-512	C-2	黒褐色細砂	砥石	204.8	125.3	79.5	2.58	砂岩
304	R-515	C-2	黒褐色細砂上面	磨石	1568.2		583	2.69	閃緑岩
306	R-555	B-2	黒褐色細砂	磨石	57.7	33.4	24.3	2.37	砂岩
305	R-568	B-3	黒褐色細砂	磨石	456.9	291.3	165.6	2.76	閃緑岩
182	R-388	C-6	SK10	管玉	0.05		0.04	1.25	緑色凝灰岩

写　真　図　版

調査地空中写真（東から）

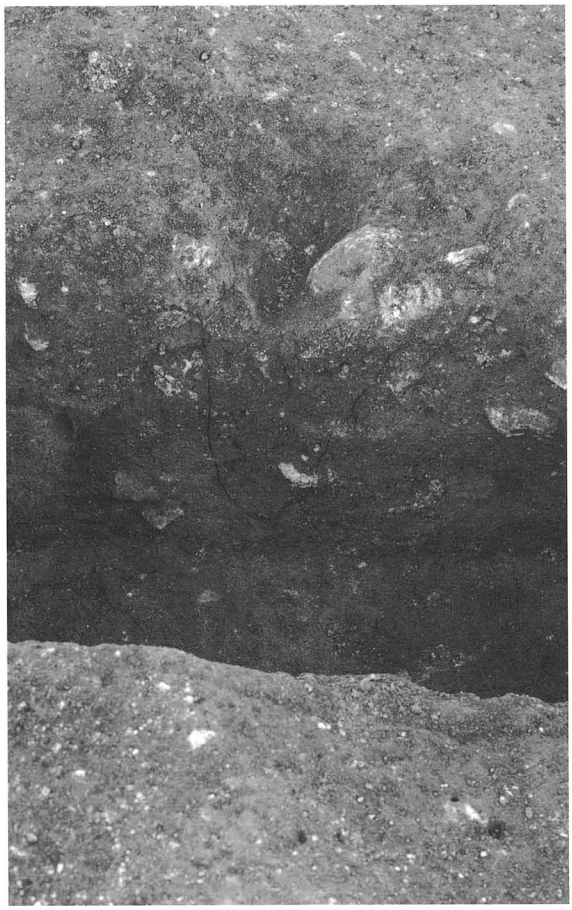
調査地空中写真（西から）

図版2



ＳＢ０３（北から）

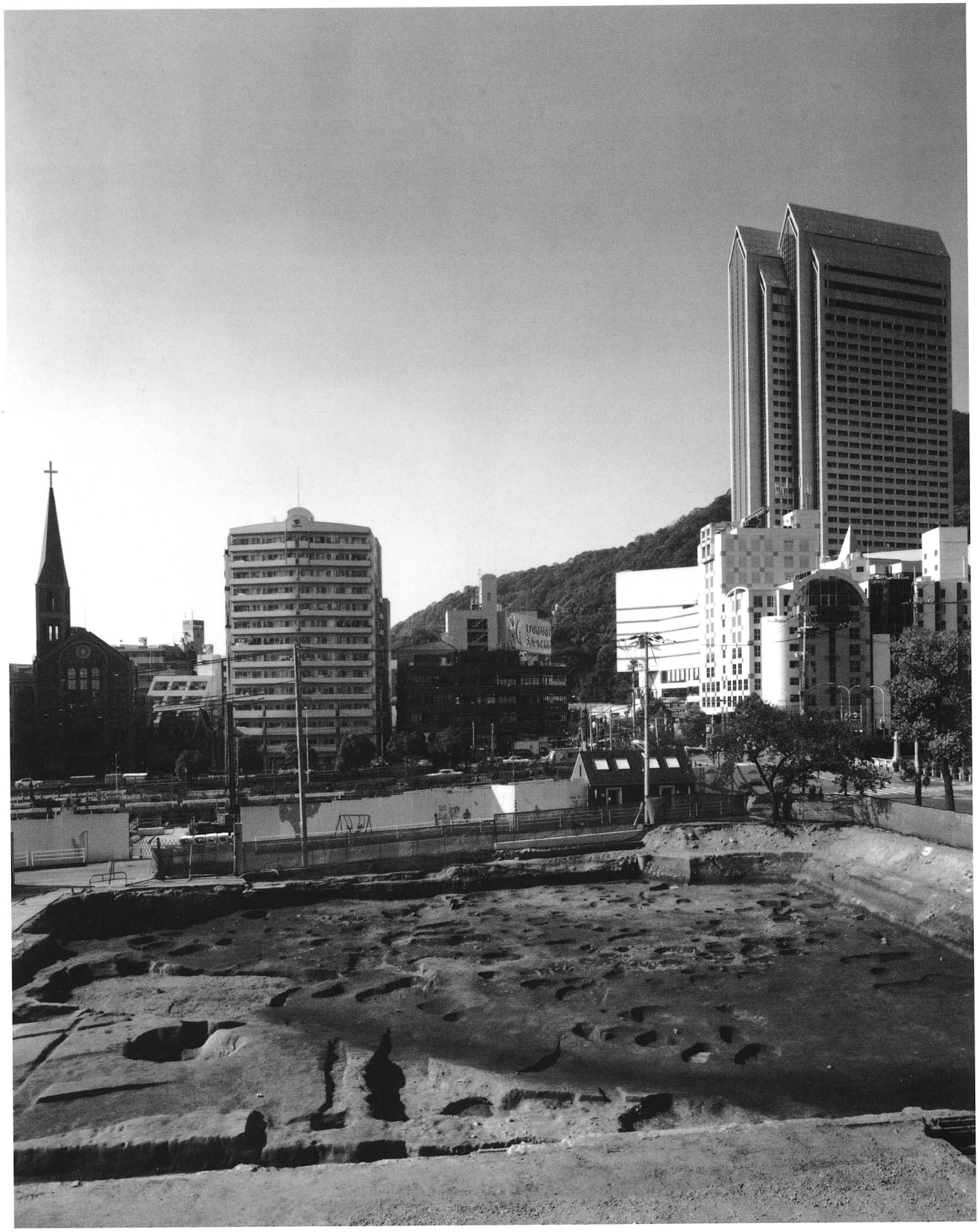
ＳＢ０３－２　Ｐ１１（南から）



ＳＢ０３－１　Ｐ２　（南西から）

第２遺構面　空中写真（上が北）

図版4



第２遺構面　全景（東から）

第２遺構面　全景（北東から）

第２遺構面　全景（北西から）

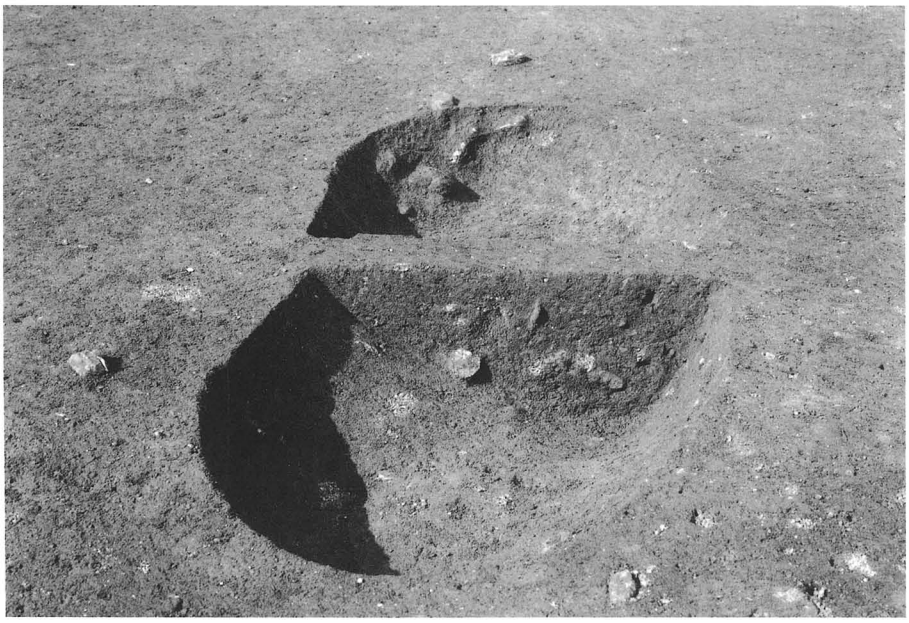
図版6

第２遺構面　全景（南西から）

第２遺構面　縄文時代後期土坑群（北東から）

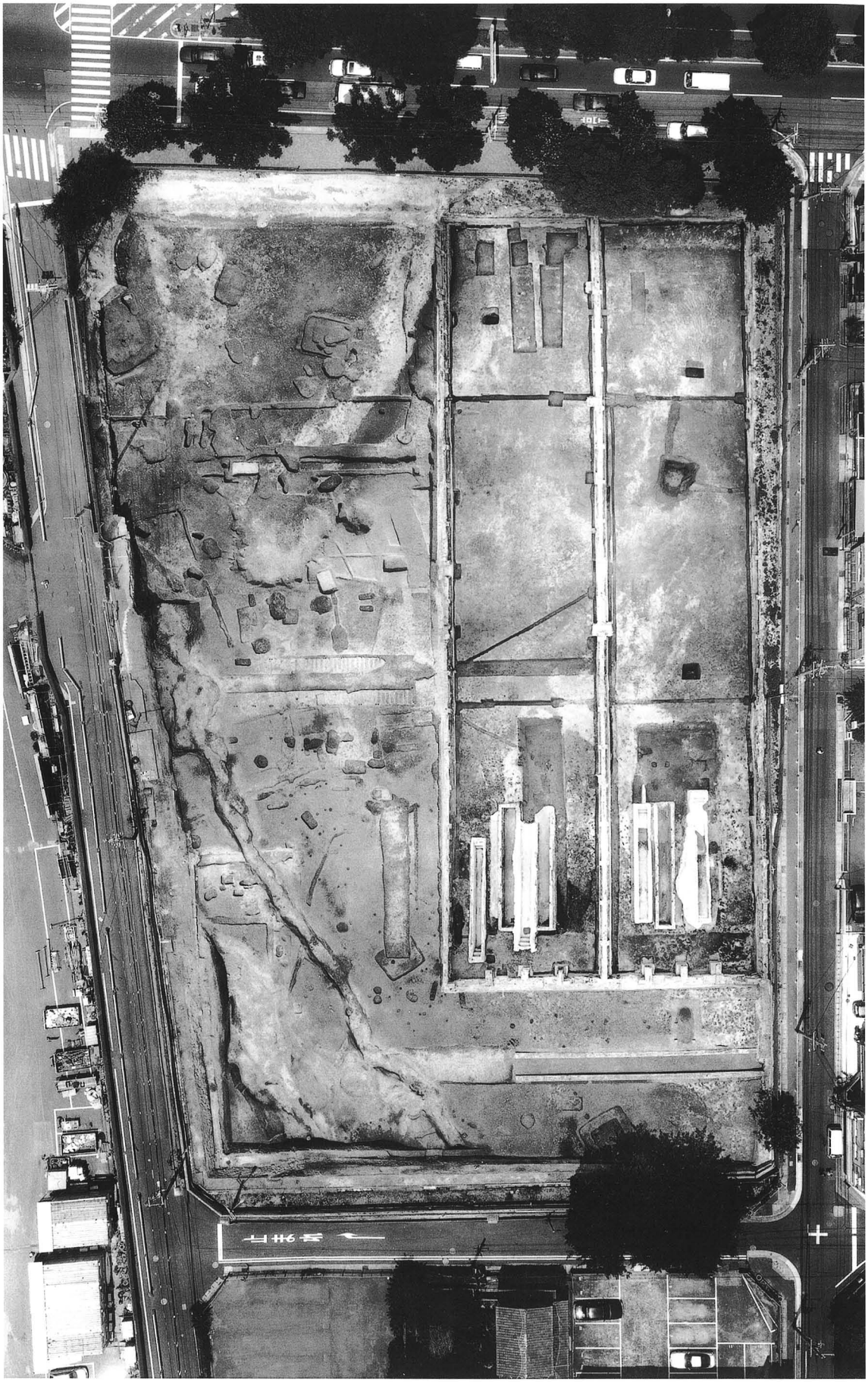
ＳＫ１４
（北から）

ＳＫ２２
（西から）



ＳＫ２８２
（南東から）

図版8



第１遺構面　空中写真（上が北）

第１遺構面　全景（北から）

第１遺構面　全景（南東から）

第１遺構面　全景（北西から）

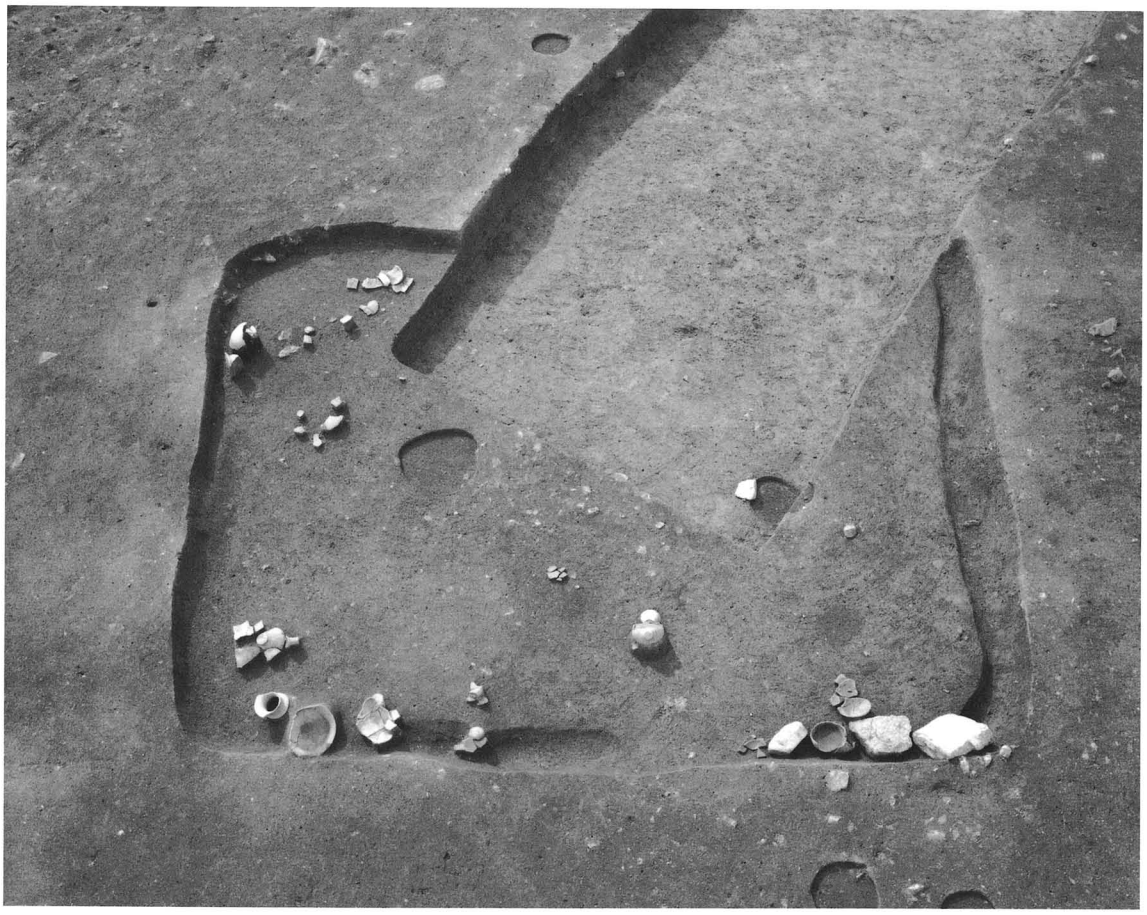
第１遺構面　全景（北東から）

第１遺構面　北西部全景（東から）

図版12

第1遺構面　北西部全景（北東から）

第１遺構面　北西部全景（北西から）



ＳＢ０１（南東から）

ＳＢ０１遺物出土状況（北東から）

図版14

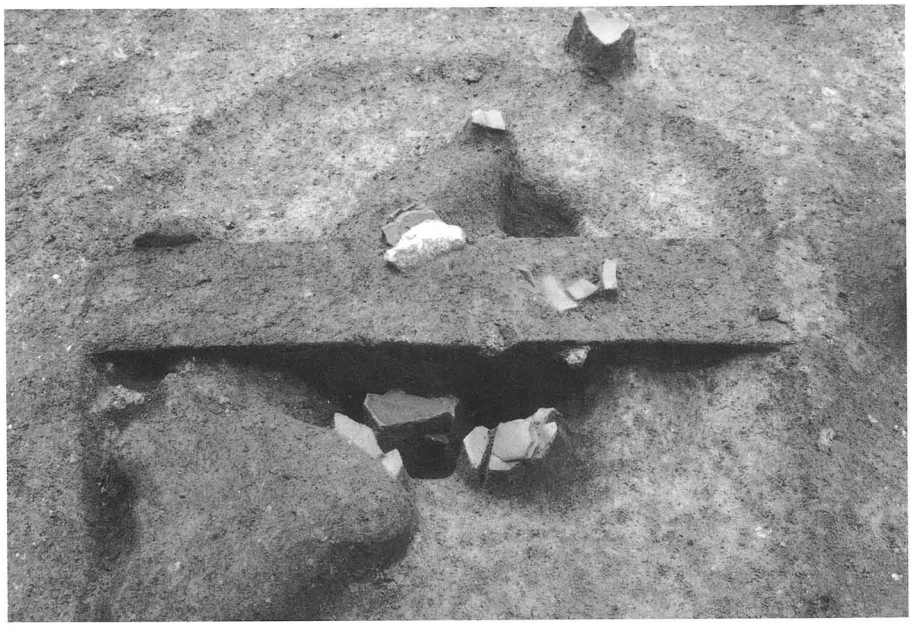
ＳＢ０２（北西から）

ＳＢ０４・ＳＢ０５（北西から）

ＳＢ０４遺物出土状況（北西から）

ＳＢ０４遺物出土状況（北東から）

図版16



ＳＢ０４
中央土坑（南から）

ＳＢ０４
屋内土坑（西から）

ＳＢ０４
高床部土留め板痕跡
（西から）

ＳＢ０４・ＳＢ０６（東から）

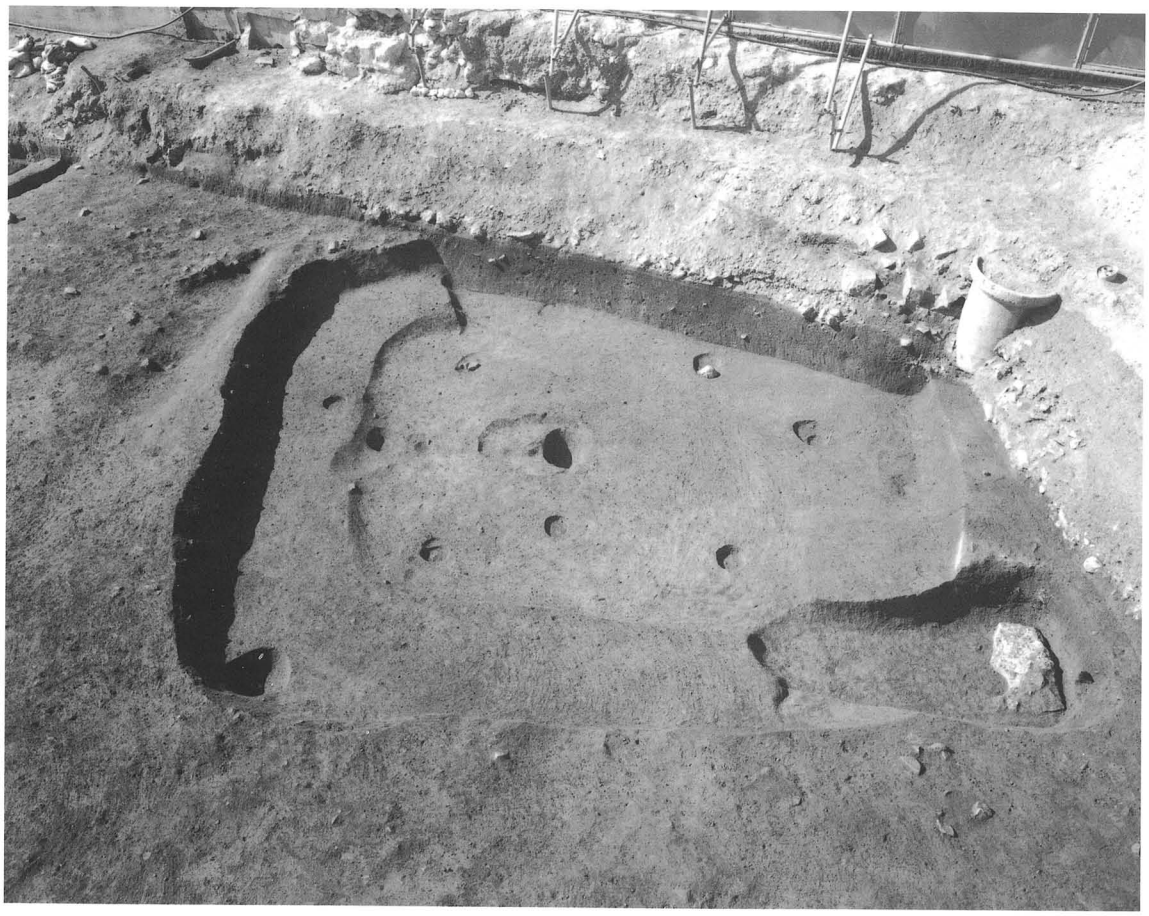
図版18

ＳＢ０６
（東から）

ＳＢ０６
中央土坑（西から）

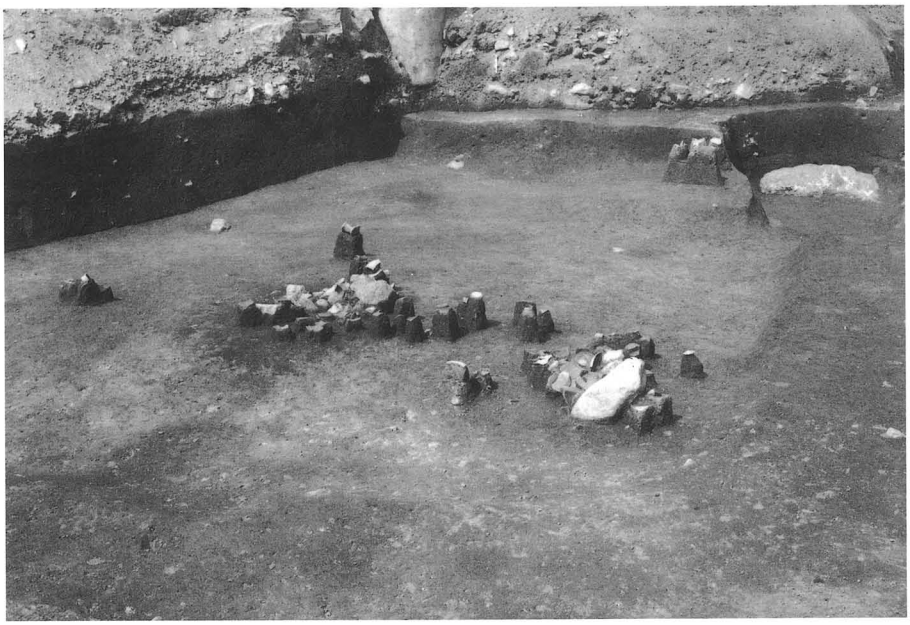
左　ＳＢ０６
　　ＳＥ主柱穴（西から）

右　ＳＢ０６
　　ＮＷ主柱穴（西から）



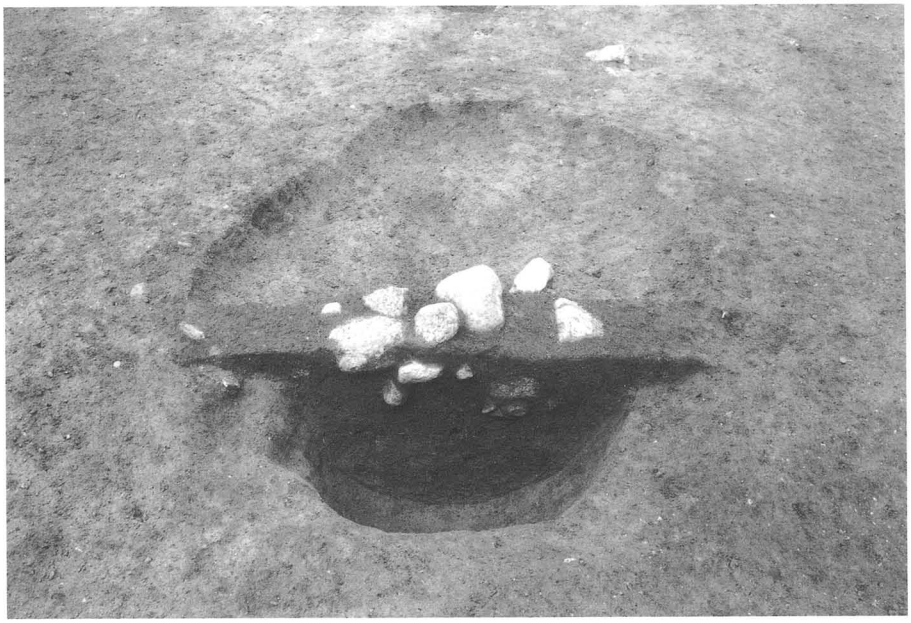
ＳＢ０８（北東から）

ＳＢ０８遺物出土状況（北東から）

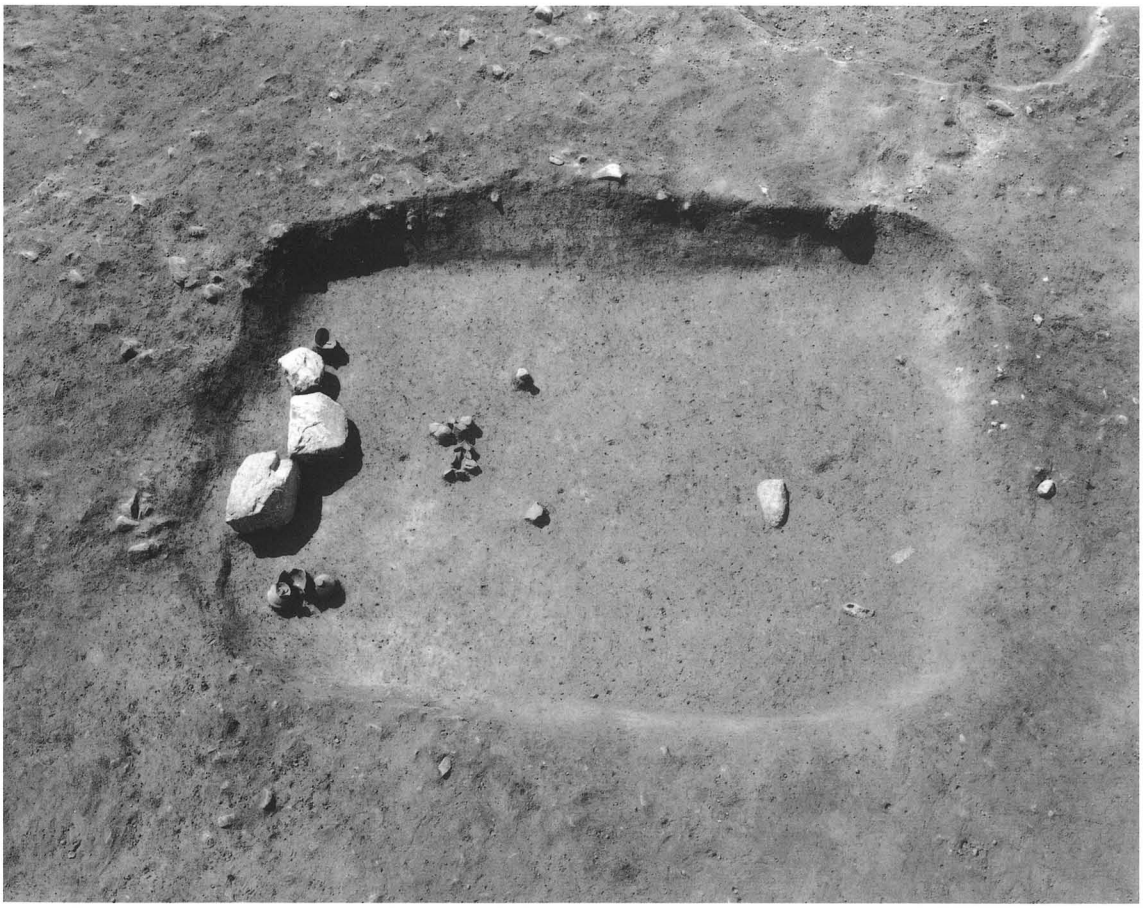


ＳＢ０８
遺物出土状況
（南東から）

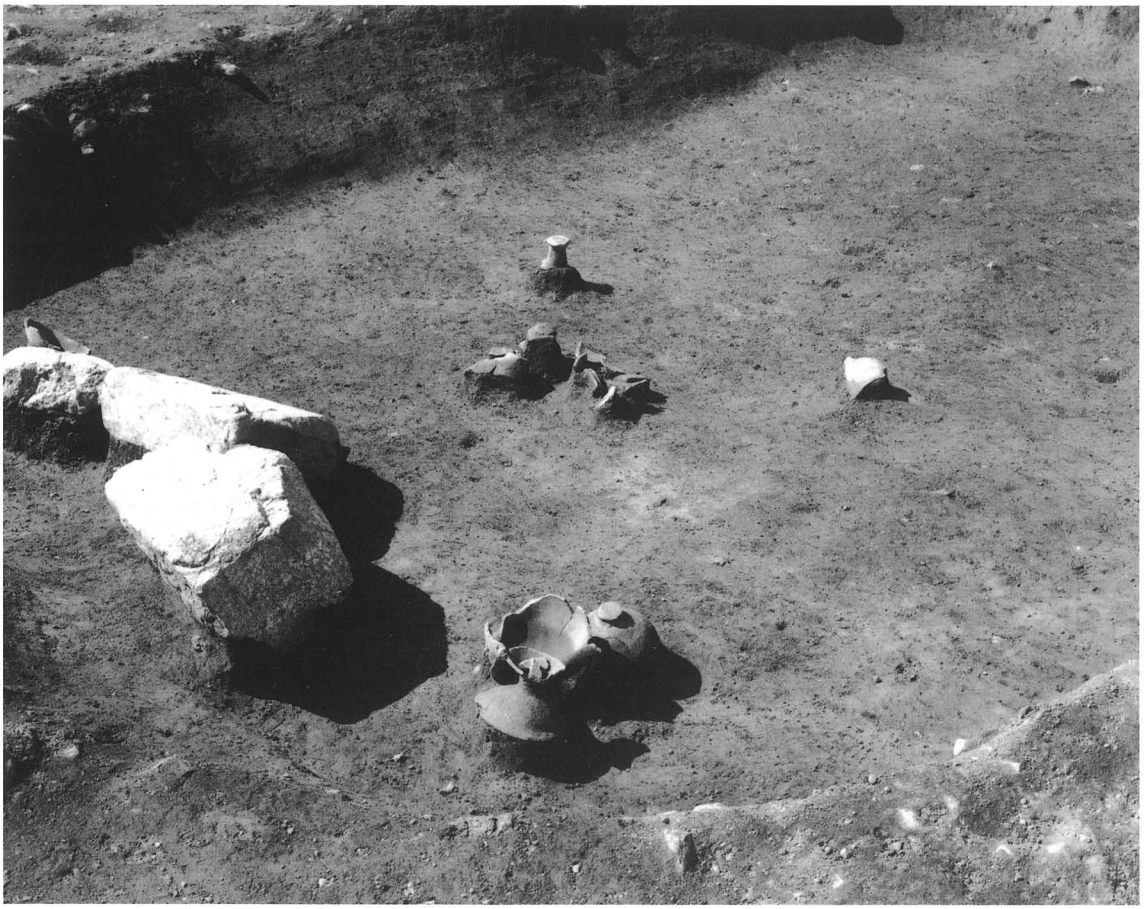
ＳＢ０８
手焙形土器出土状況
（北東から）



ＳＢ０８
中央土坑
（北から）

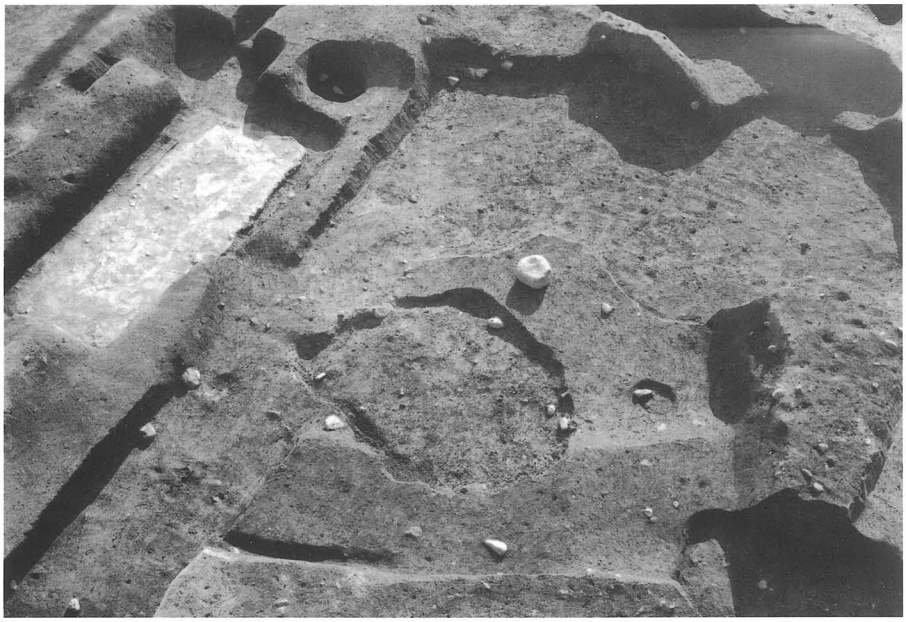


ＳＢ０９（東から）

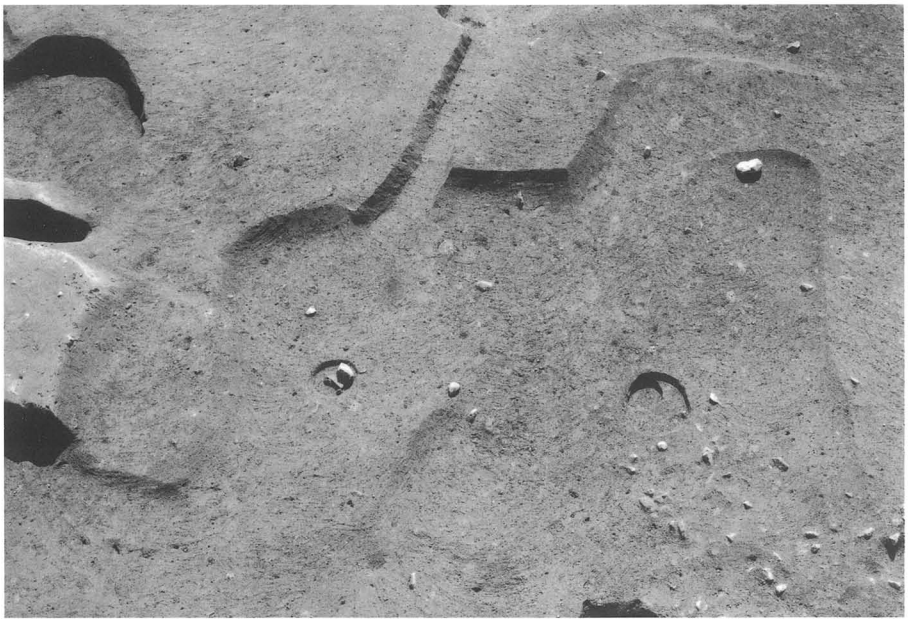


ＳＢ０９遺物出土状況（南東から）

図版22

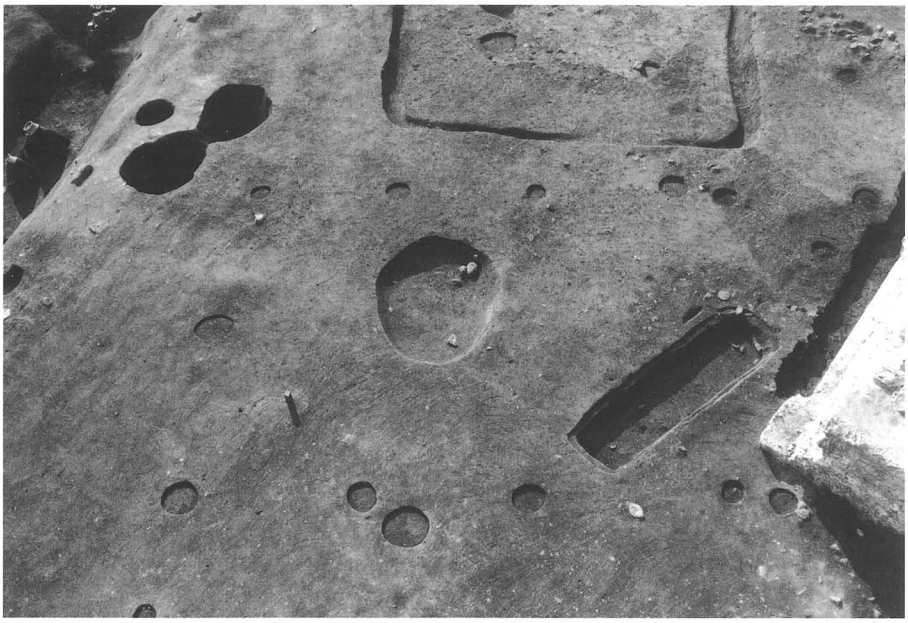


ＳＢ１０
（北東から）

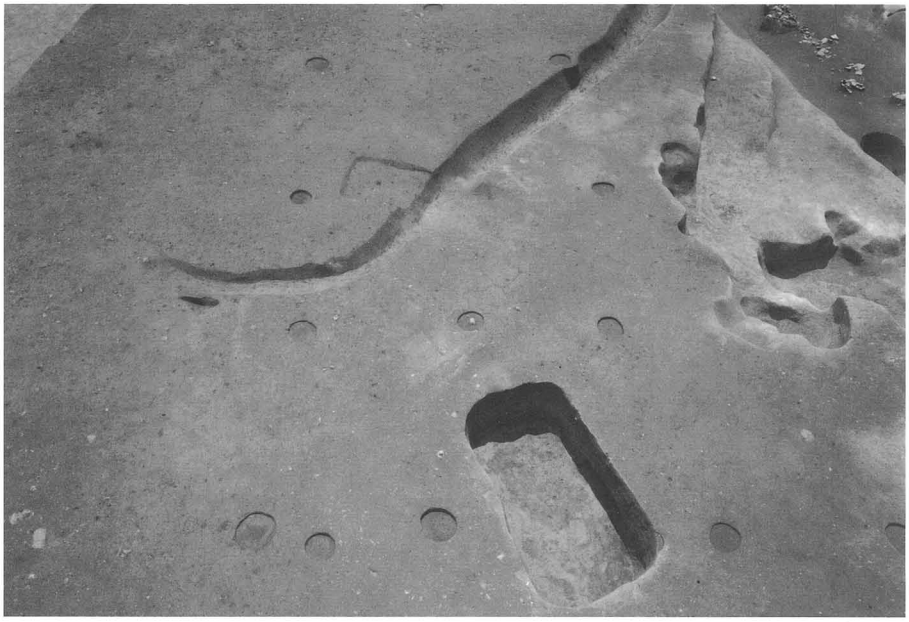


ＳＢ１２
（北から）

ＳＢ１３
（北西から）



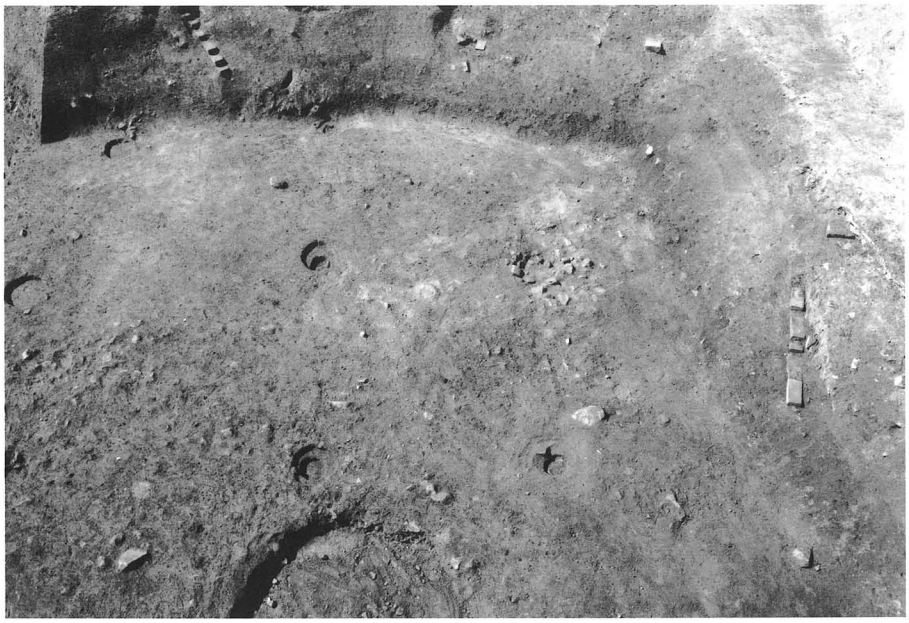
ＳＨ０１
（南東から）



ＳＨ０２・ＳＨ０３
（北から）

ＳＨ０４
（東から）

図版24



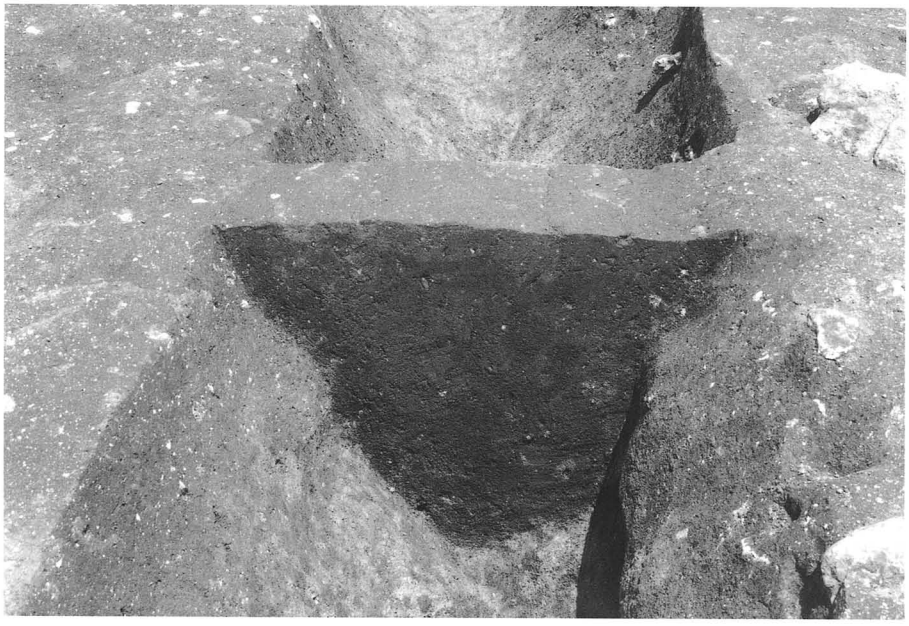
ＳＨ０５
（東から）

ＳＫ２０
（北東から）

ＳＫ１０
（西から）

ＳＫ０９
（北西から）

ＳＫ１９
（北西から）



ＳＤ０２断面
（南から）

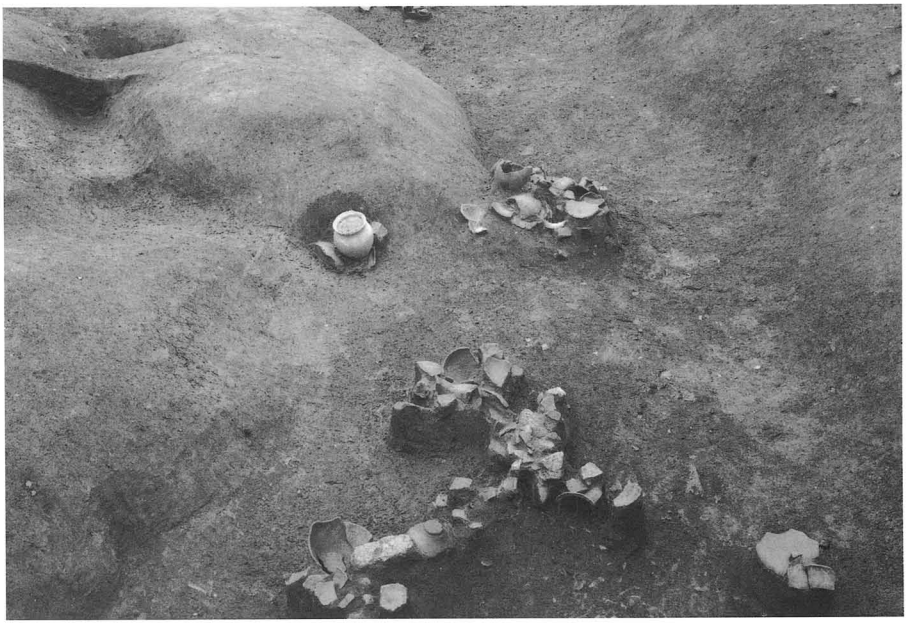
ＳＤ０１（南東から）

ＳＤ０１遺物出土状況（北から）

ＳＤ０１遺物出土状況（北西から）

ＳＤ０１遺物出土状況（南東から）

ＳＤ０１（土器群12）
遺物出土状況
（北西から）

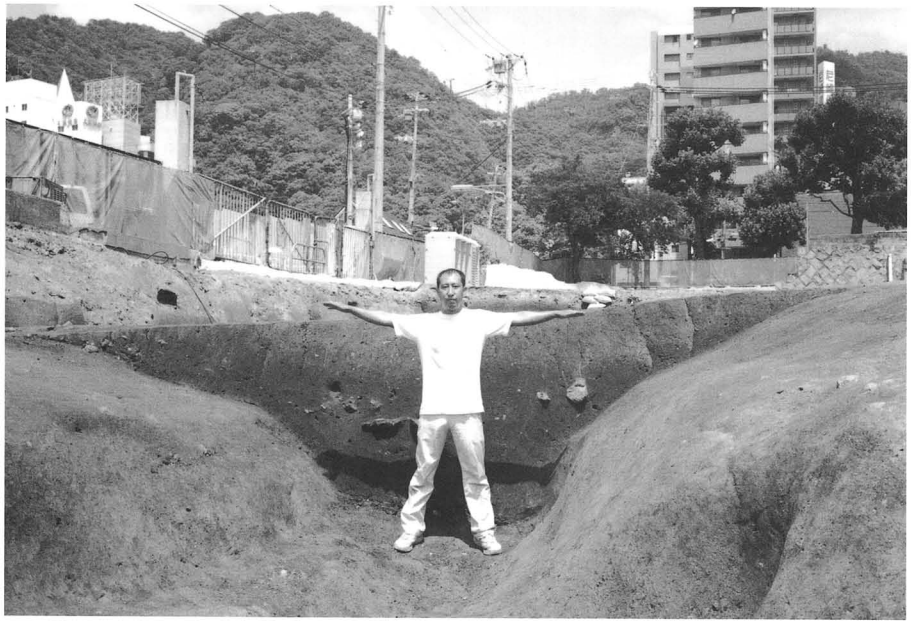


ＳＤ０１（土器群９・10）
遺物出土状況
（北から）

ＳＤ０１（土器群９）
遺物出土状況
（北から）

ＳＤ０１
セクション１
（北西から）

ＳＤ０１
セクション２
（北西から）



ＳＤ０１
セクション３
（南東から）

図版30

ＳＤ０５
（南東から）

ＳＤ０５
セクション
（南東から）

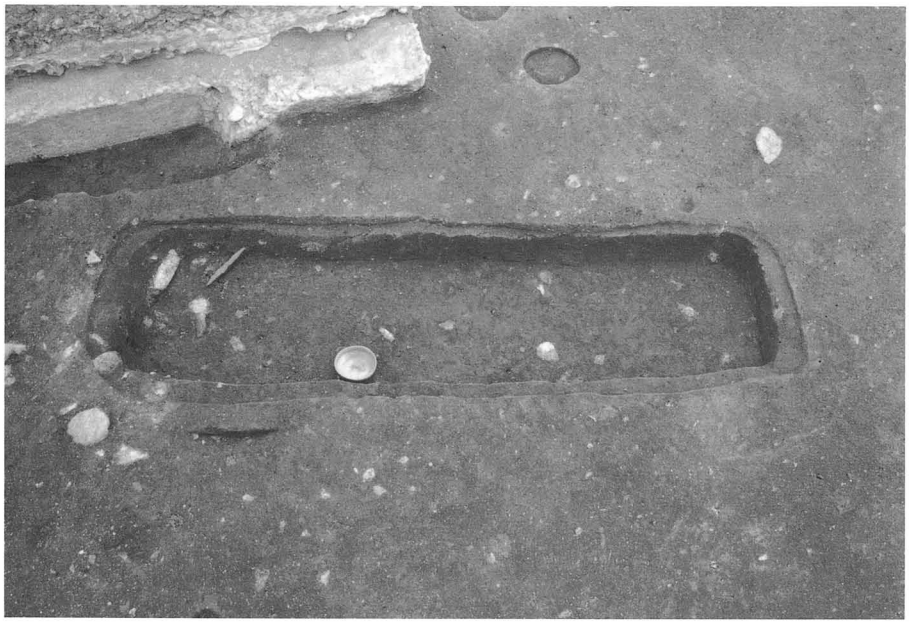
ＳＤ０５
セクション
（南東から）

ＳＢ０７
（南から）

ＳＢ１１
（北から）

ＳＢ０５遺物出土状況（南から）

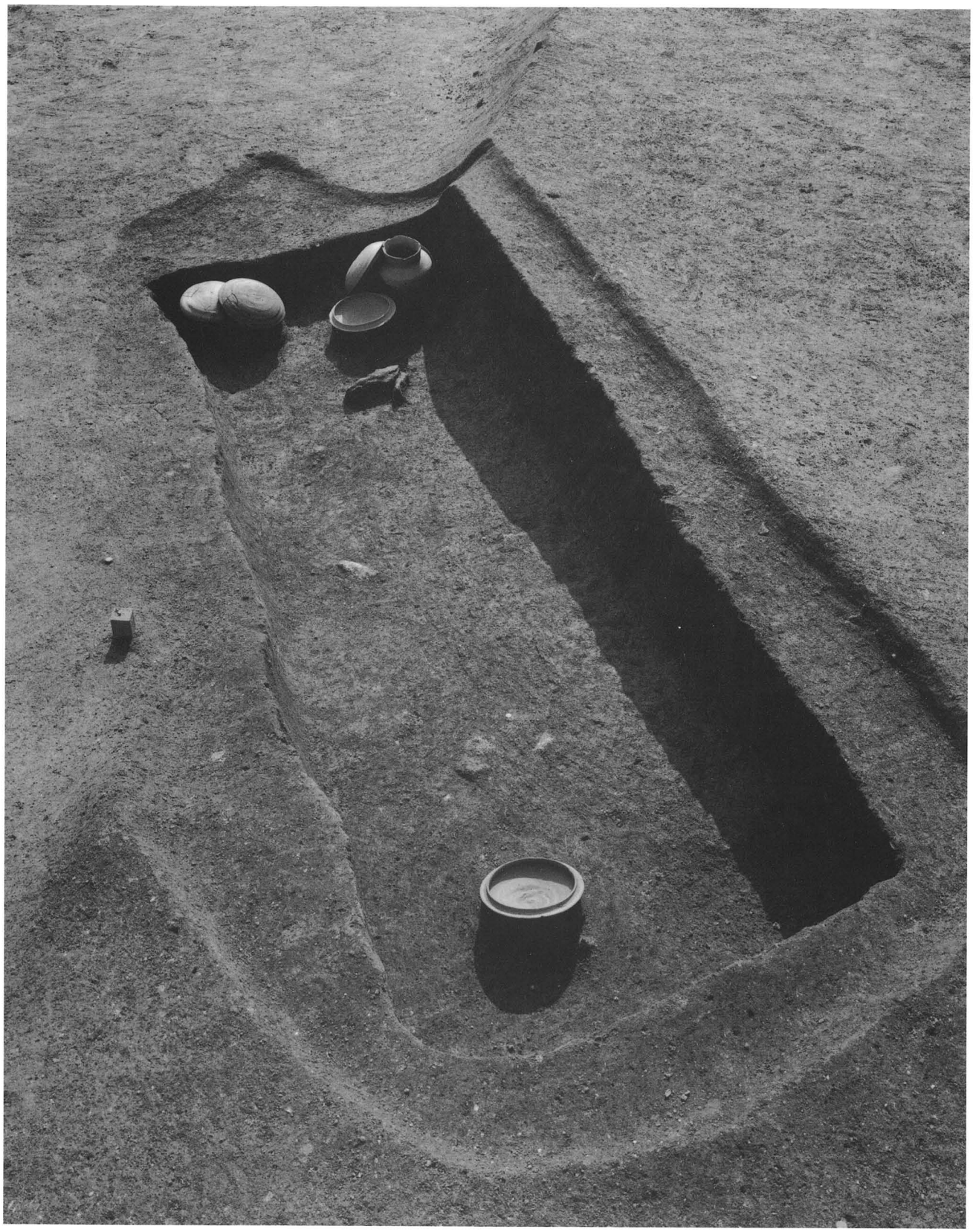
ＳＢ１１－ＳＫ01遺物出土状況（北から）



ＳＴ０１
（北西から）

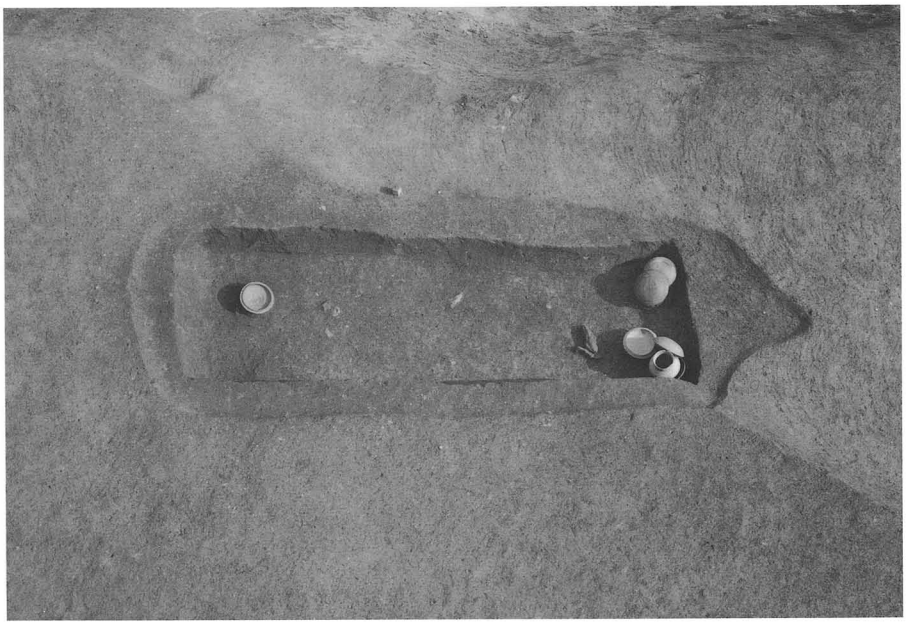
ＳＴ０１
遺物出土状況
（南西から）

ＳＴ０２
（西から）

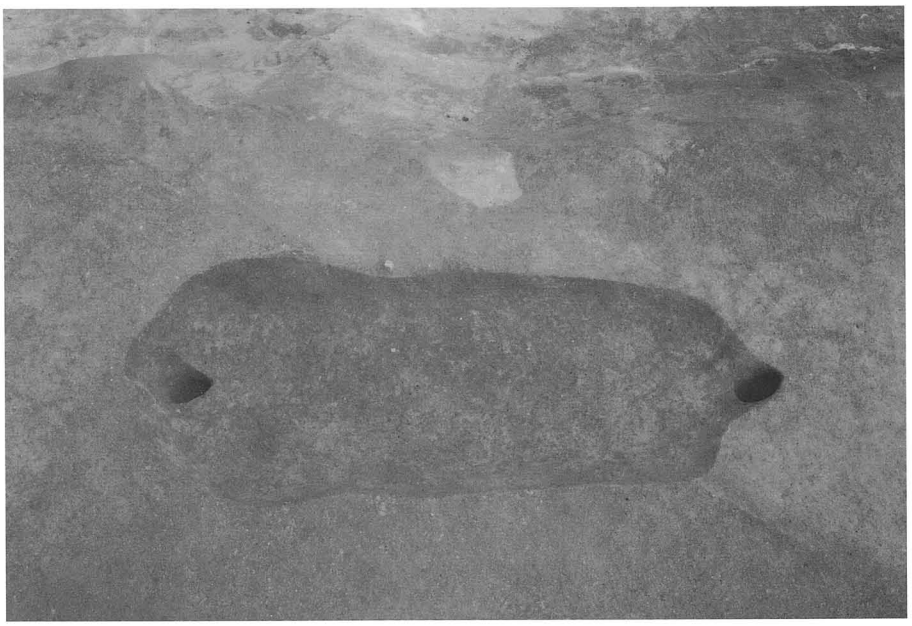


ＳＴ０３（北から）

図版34



ＳＴ０３
（西から）

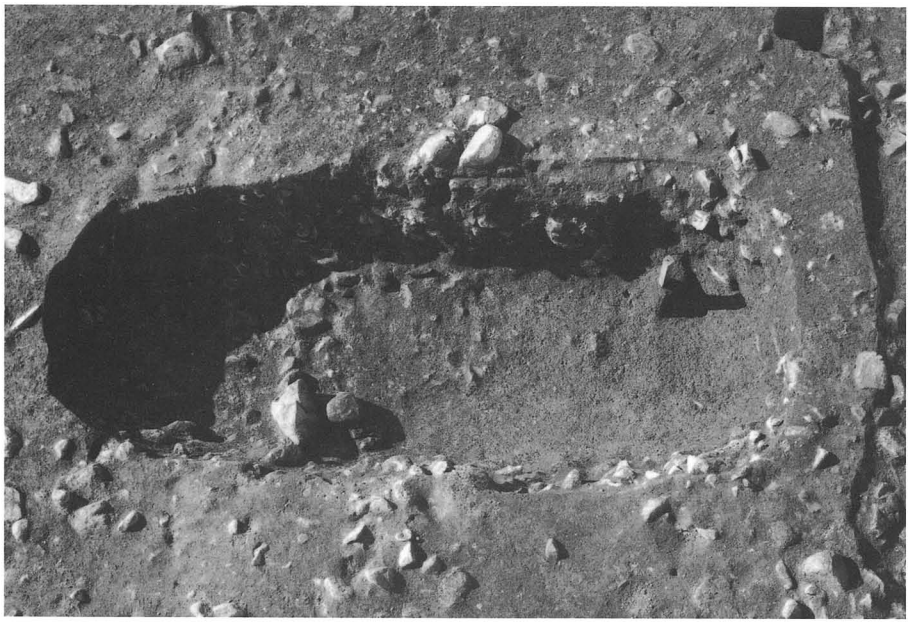


ＳＴ０３
掘形
（西から）

ＳＴ０３
遺物出土状況
（北から）

ＳＴ０３
南小口
遺物出土状況（東から）

ＳＴ０３
北小口
遺物出土状況（東から）



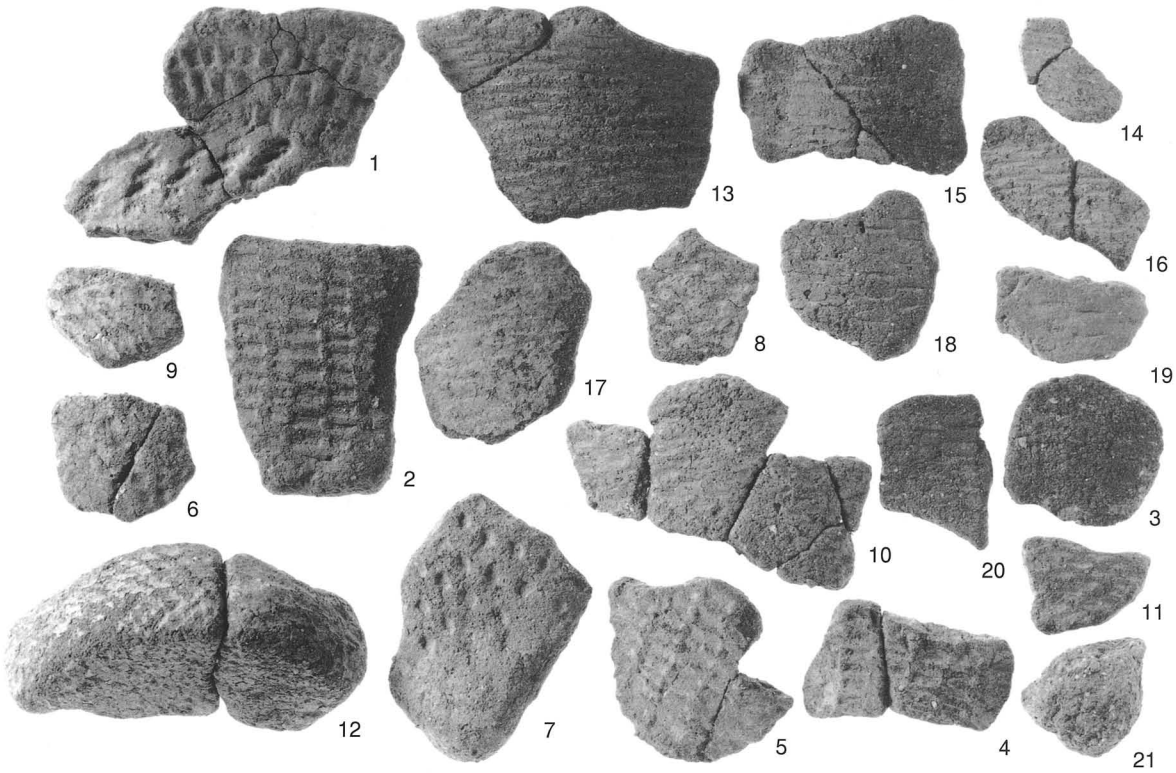
ＳＴ０４
（南東から）

図版36

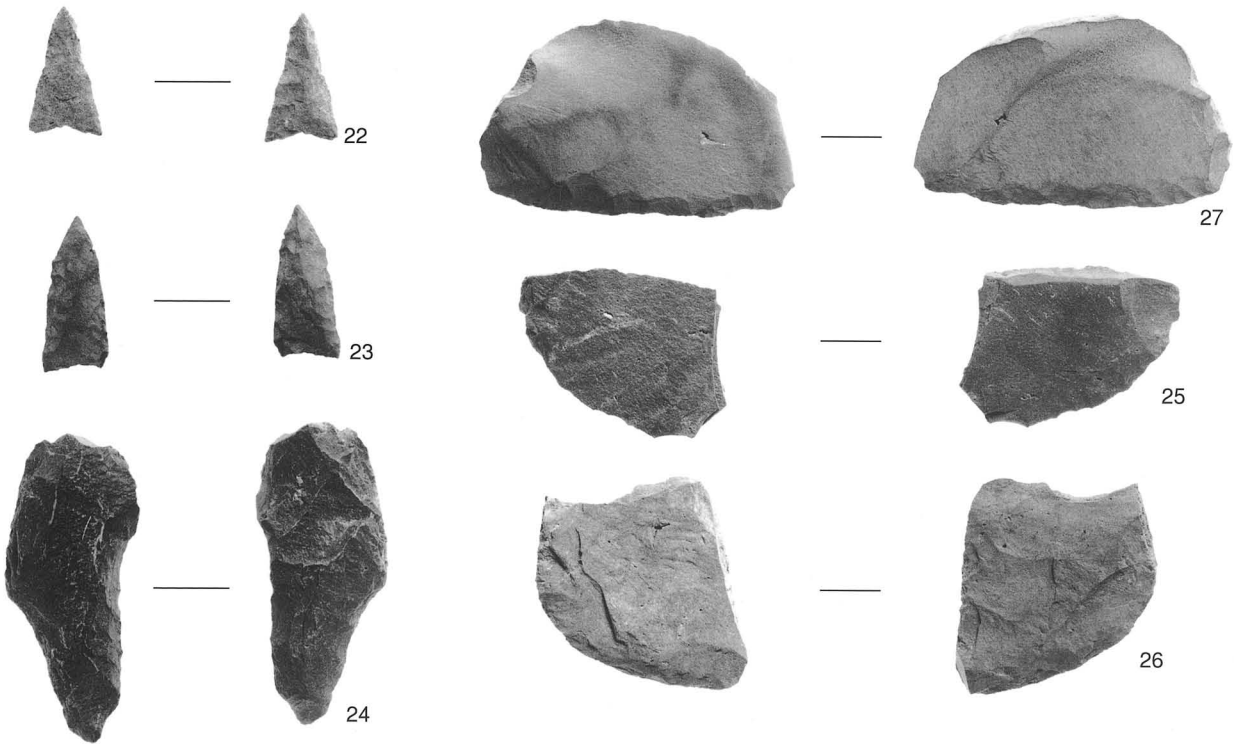
ＳＸ０１
（北西から）

ＳＸ０２・ＳＸ０３
（北西から）

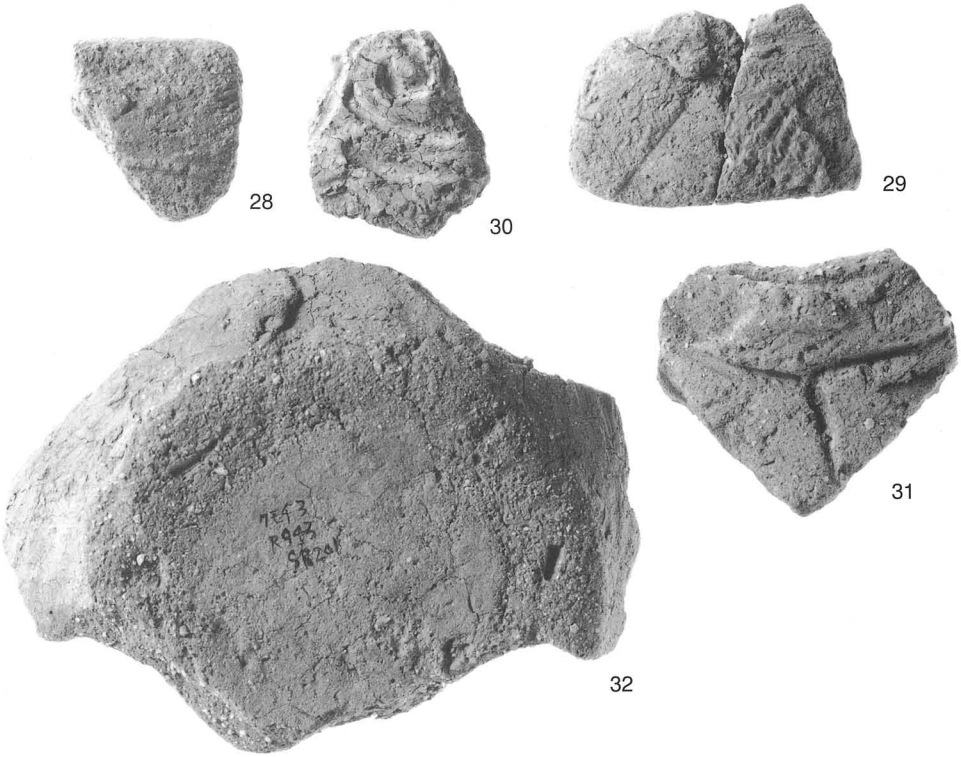
調査地北壁
基本層序
（南東から）



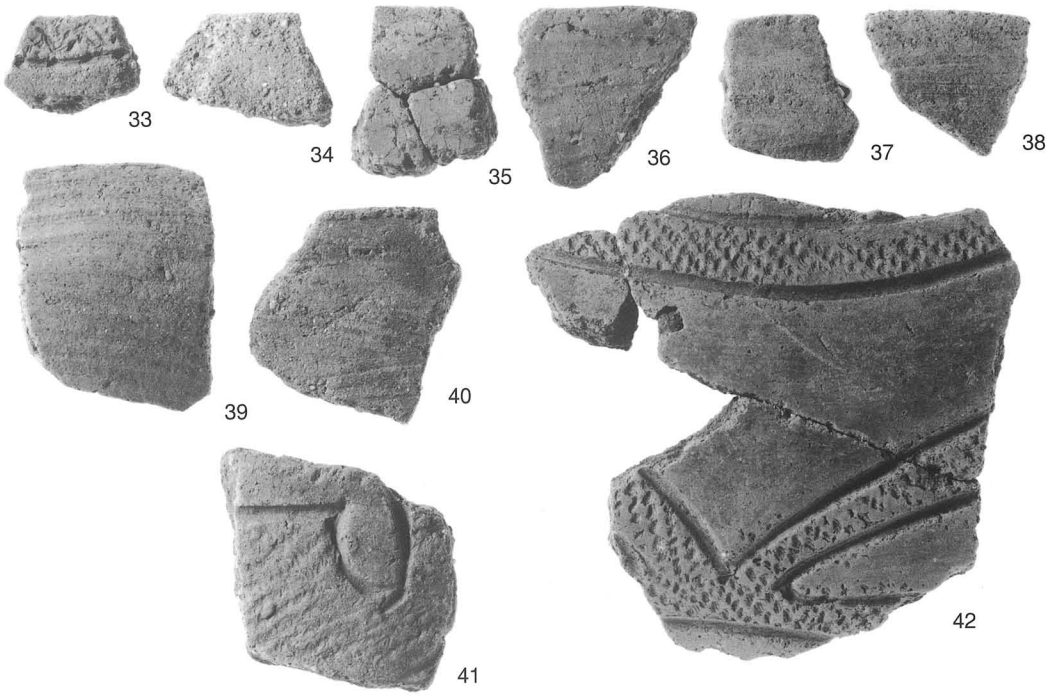
縄文時代早期押型文土器



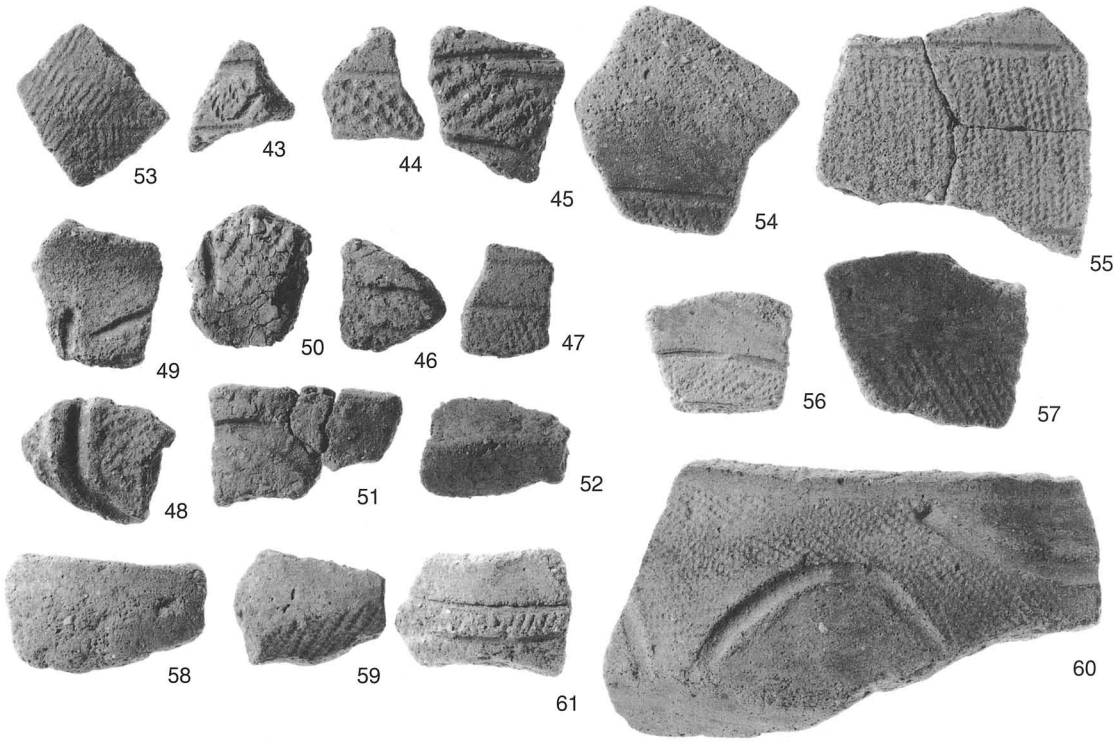
縄文時代早期の石器



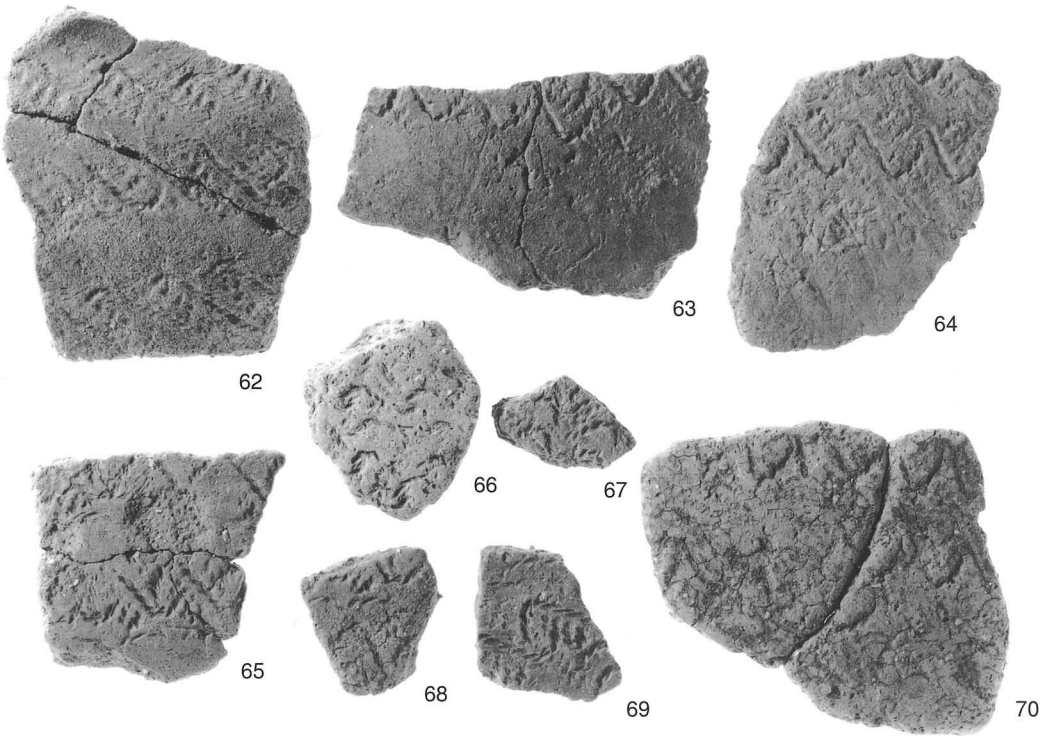
ＳＲ２０１出土土器



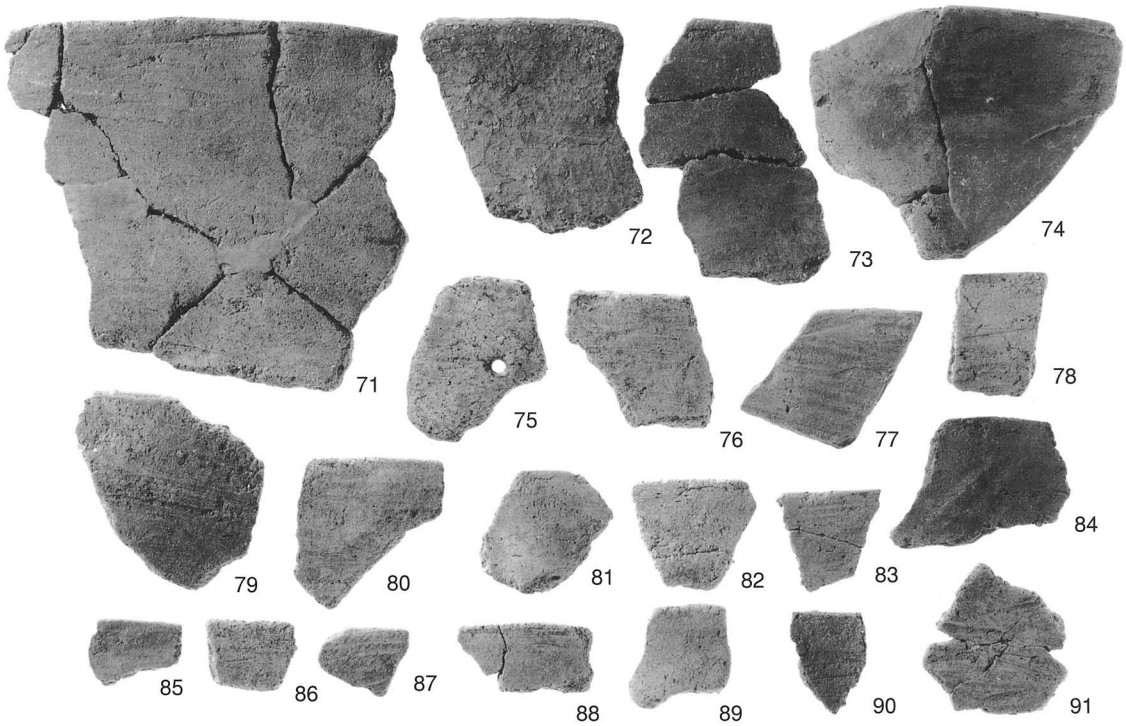
縄文時代後期の土坑出土土器



暗灰色砂層出土土器（1）

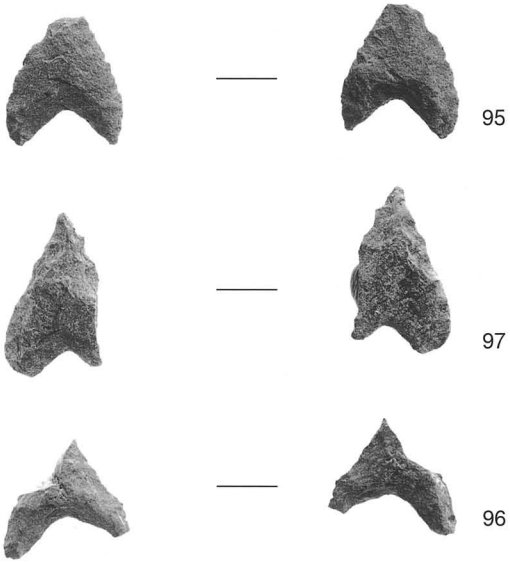


暗灰色砂層出土土器（2）



暗灰色砂層出土土器（3）

暗灰色砂層出土土器（4）



縄文時代後期の石鏃

94

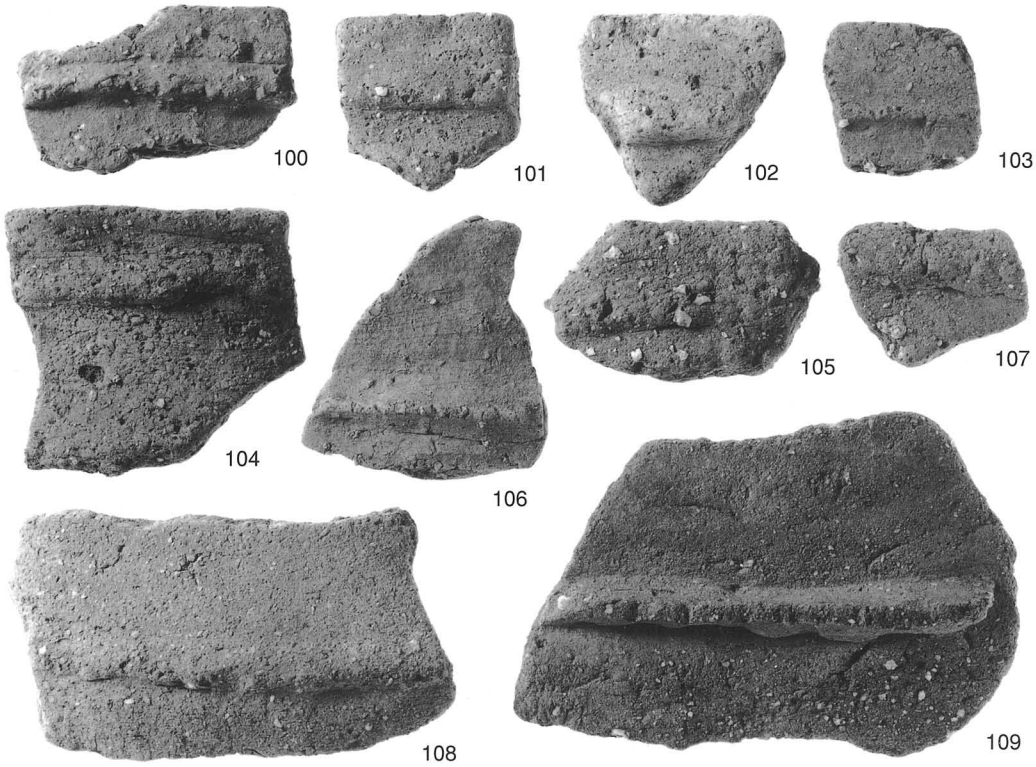
暗灰色砂層出土土玉

99

98

ＳＫ334出土磨石

暗灰色砂層出土サヌカイト石核



縄文時代晩期突帯文土器

110

111

112

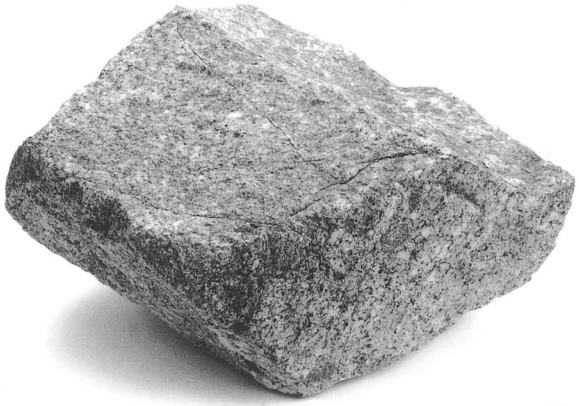
113

115

114

ＳＢ０１出土土器（1）

116



119

ＳＢ０１出土台石

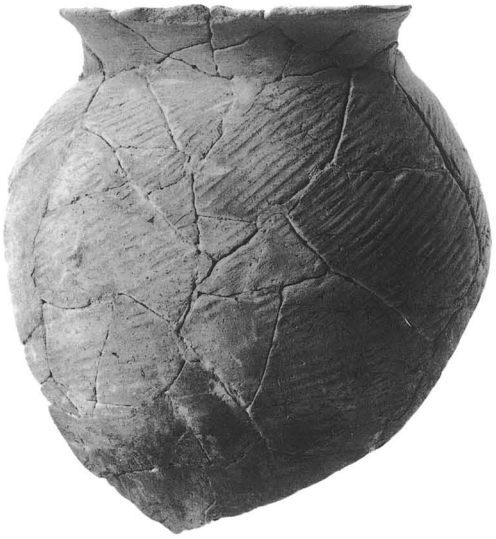
117

ＳＢ０１出土土器（2）

121

ＳＢ０２出土土器

ＳＢ０４出土土器(1)



122

131

134

128

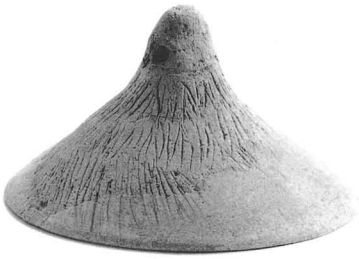
135

127

133

136

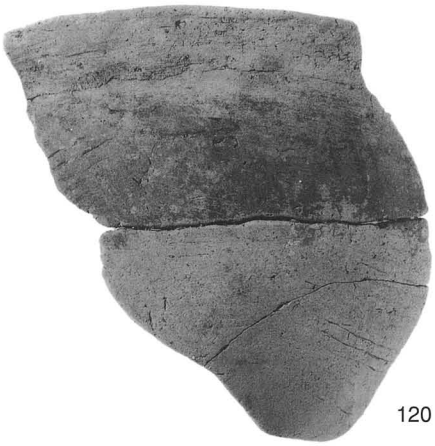
ＳＢ０４出土土器（2）



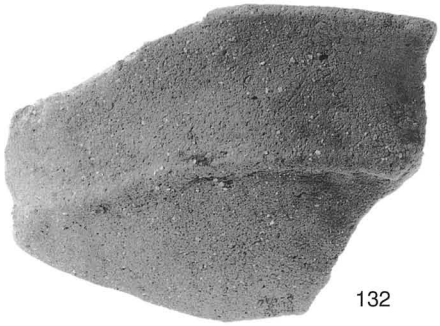
137

138

129

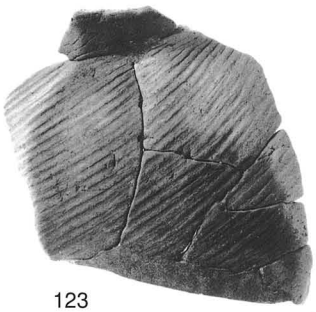


120



132

130



123

123

125

124

ＳＢ０４出土土器（3）及び砥石

139

140

ＳＢ０６出土土器

143

158

ＳＢ０８出土土器（1）

145

148

156

144

159

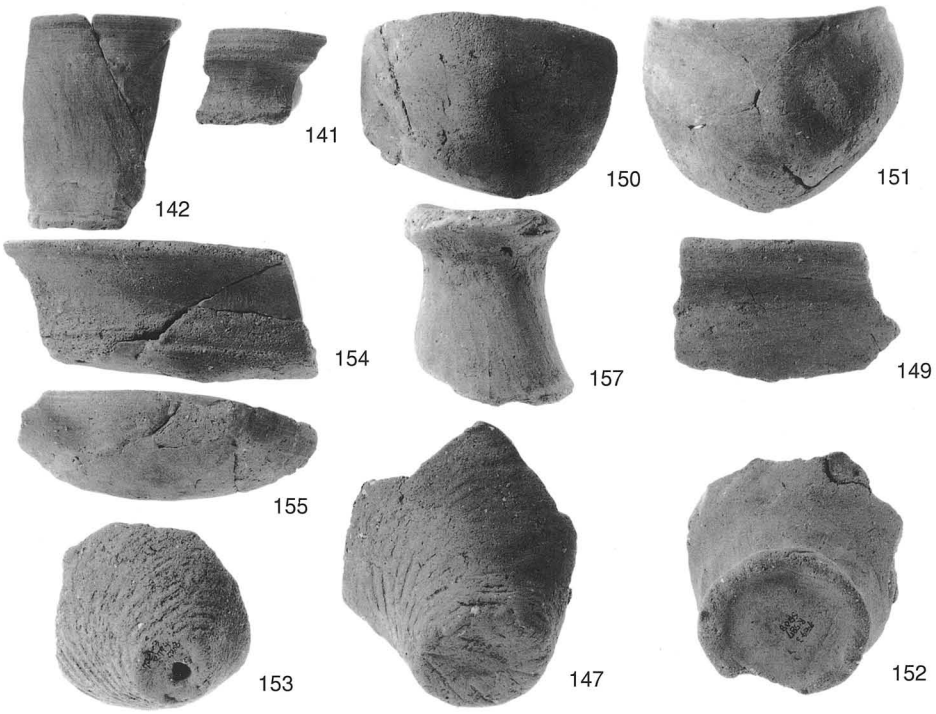
146

160

161

162

ＳＢ０８出土土器（2）及び投弾



ＳＢ０８出土土器（3）

ＳＢ０９出土土器（1）

164

166

169

165

170

167

171

ＳＢ０９出土土器（2）

173

174

175

327

177

176

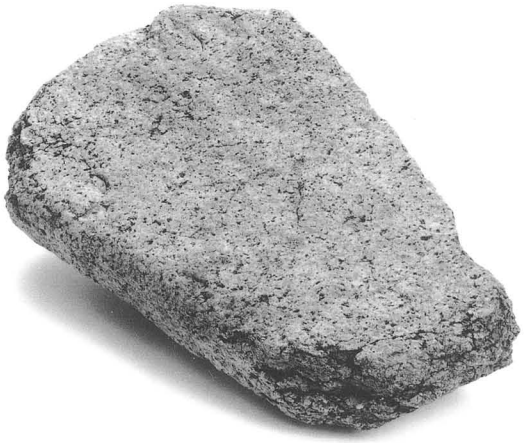
178

ＳＢ１０出土土器

179

180

ＳＢ１２出土土器



181

ＳＢ１３出土台石

183

184

ＳＤ０１出土土器（1）

185

188

186

189

187

190

ＳＤ０１出土土器（2）

191

194

195

192

196

ＳＤ０１出土土器（3）

197

200

198

201

199

202

ＳＤ０１出土土器（4）

203

205

206

204

208

207

209

ＳＤ０１出土土器（5）

211

214

212

215

213

216

ＳＤ０１出土土器（6）

217

222

223

219

224

220

225

221

226

ＳＤ０１出土土器（7）

227

231

228

232

229

233

230

234

ＳＤ０１出土土器（8）

235

239

236

240

237

241

238

242

ＳＤ０１出土土器（9）

243

247

244

248

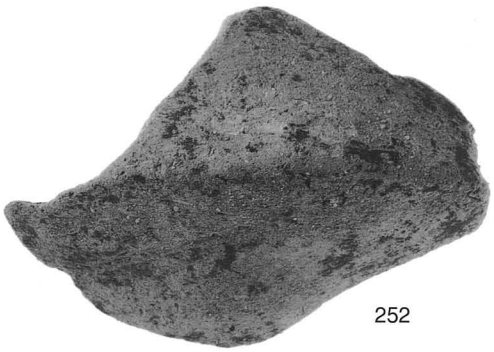
249

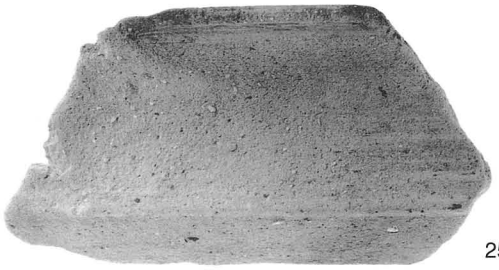
245

250

ＳＤ０１出土土器（10）

251

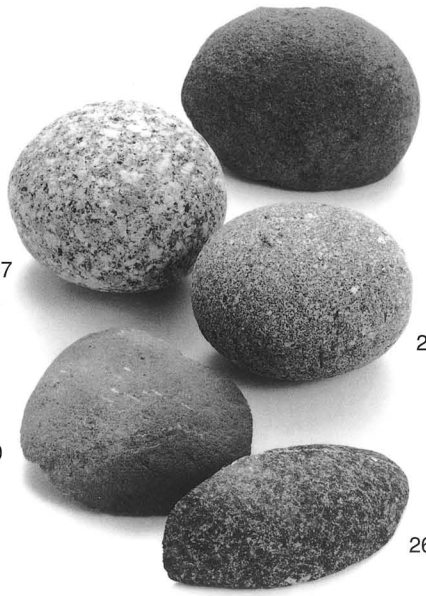

252


253

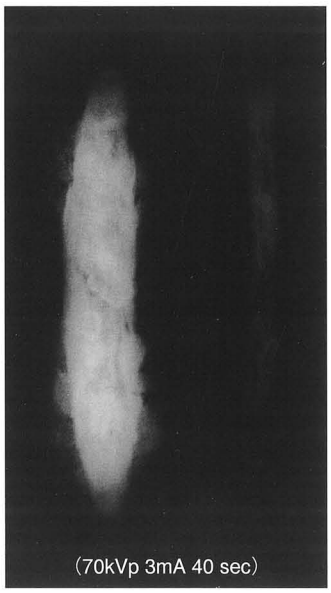
254

255

261


256
257
258
259
260

262
263



ＳＤ０１出土土器（11）及び石器・鉄製品

266

271

284

272

269

273

270

ＳＤ０５出土土器（1）

275

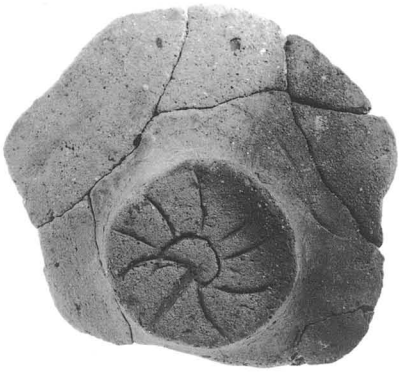
280

276

281

278

282



277

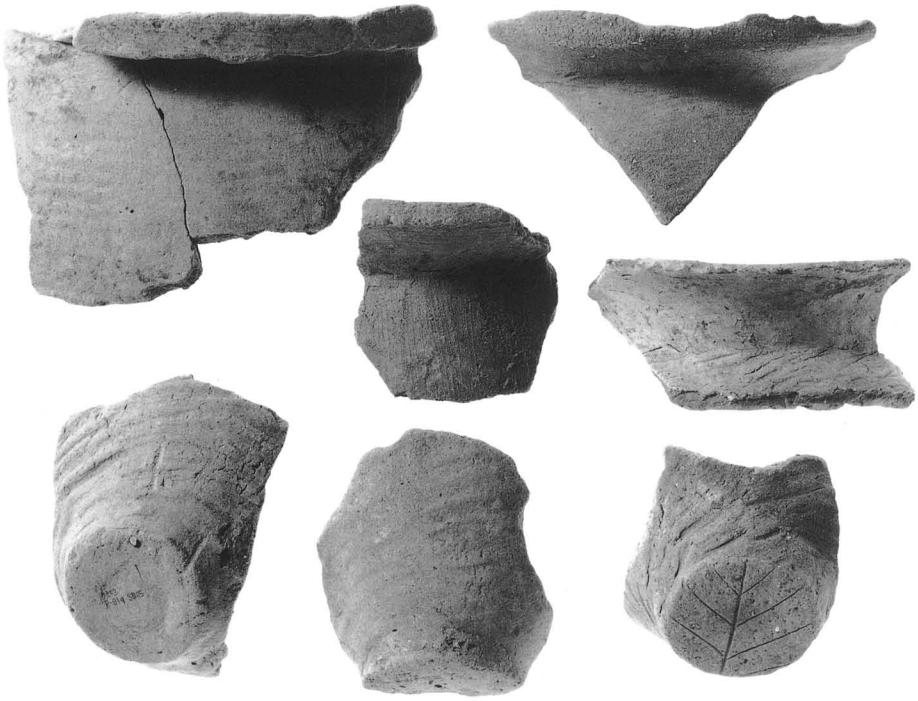
283

ＳＤ０５出土土器（2）

ＳＤ０５第３層出土土器

ＳＤ０５第４層出土土器

ＳＤ０５第５層出土土器（1）

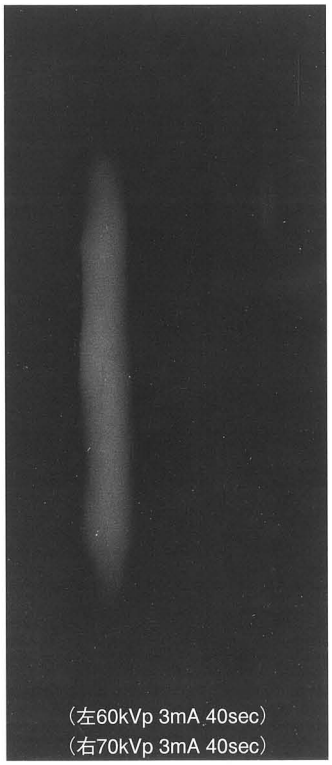


ＳＤ０５第５層出土土器（2）

295

296

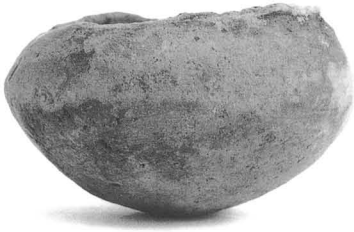
297　298



ＳＤ０５第５層出土土器（3）及びＳＤ０５出土遺物

307

308



310

309

ＳＢ０５出土土器（1）

311

ＳＢ０５出土土器（2）

312

313

ＳＢ０７出土土器

ＳＢ１１出土遺物（1）

314

318

315

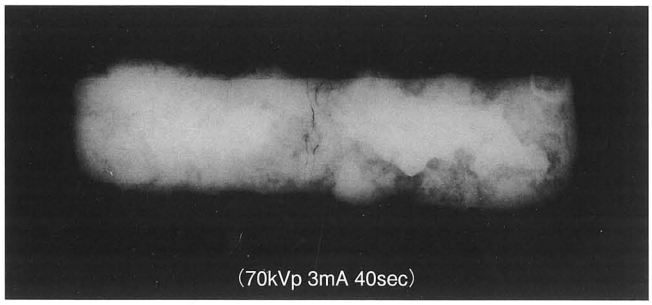
319

320

316

322

317



ＳＢ１１出土遺物（2）

301

326

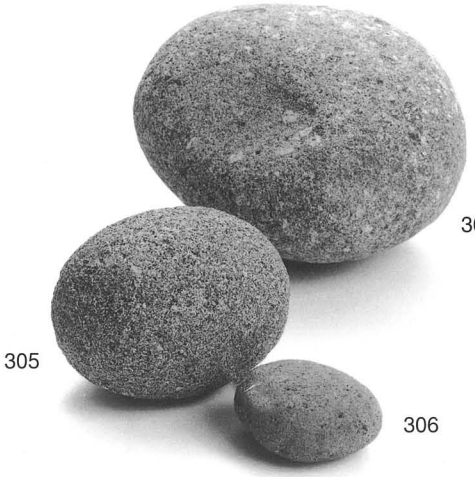
323

302

303

324

325



304

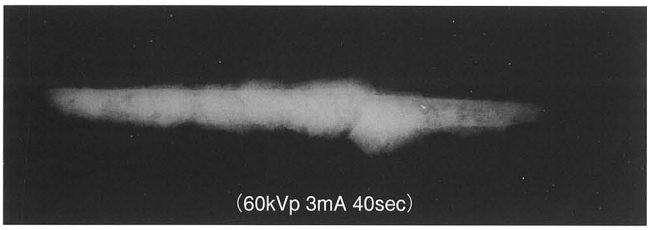
305

306

黒褐色細砂層出土遺物

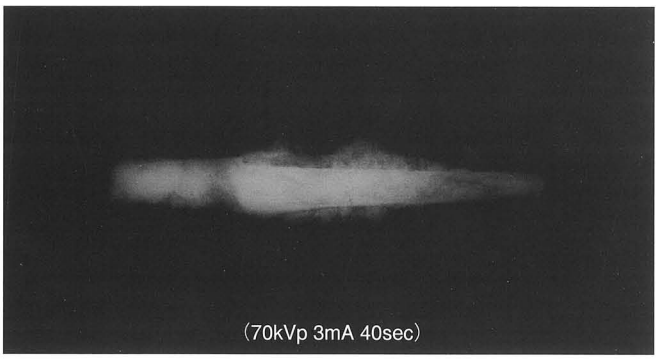
329

328



ＳＴ０１出土遺物

343



ＳＴ０４出土遺物

ＳＴ０３出土遺物

330

335

331

336

332

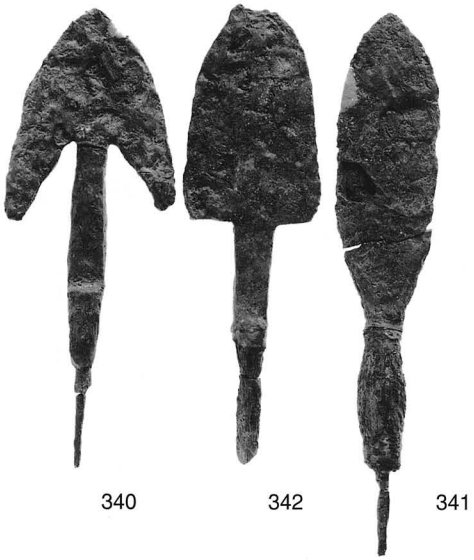
337

338

334

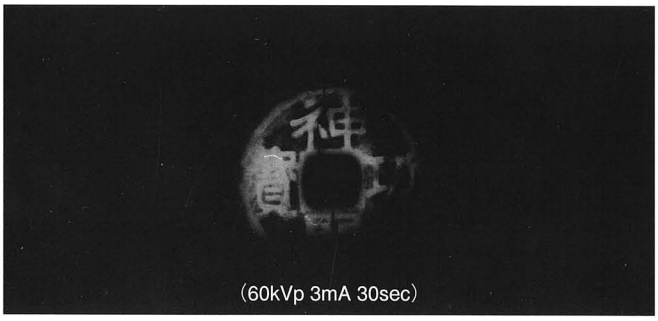
339

ＳＴ０３出土土器



ＳＴ０３出土鉄鏃　（70kVp 3mA 40sec）

351



奈良時代の遺物

報告書抄録

ふりがな	くもちいせき　だい3じちょうさ　はっくつちょうさほうこくしょ
書名	熊内遺跡　第3次調査　発掘調査報告書
編著者名	安田滋（編）　谷正俊　藁科哲男　(株)古環境研究所
編集機関	神戸市教育委員会
所在地	〒650-8570　兵庫県神戸市中央区加納町6丁目5番1号　TEL.078-322-6480
発行年月日	西暦2003年3月31日

所収遺跡名	所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積（㎡）	調査原因
くもち 熊内遺跡	ひょうごけん　こうべし 兵庫県神戸市 ちゅうおうくくもちばし 中央区熊内橋通 7丁目1番	28110	3-38	34° 42′ 3″	135° 12′ 4″	20010301 ～ 20011129	7000	土地整備事業

種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
集落	縄文時代早期 縄文時代後期 縄文時代晩期 弥生時代後期 古墳時代前期 古墳時代後期 奈良時代	縄文時代早期 竪穴住居 縄文時代後期 土坑 弥生時代後期 竪穴住居 二重環濠 古墳時代前期 竪穴住居 古墳時代後期 木棺墓・土壙墓	縄文時代早期 押型文土器（大川式） 石器（石鏃、削器） 縄文時代後期 土器（中津式～元住吉山1式、平城式）　石鏃 縄文時代晩期 突帯文土器（長原式併行） 弥生時代後期 弥生土器・ガラス玉・投弾 土錘 古墳時代前期 土師器・鉄製鎌 古墳時代後期 須恵器・鉄鏃 奈良時代 須恵器・土師器 銭貨（神功開寶）	縄文時代早期 初頭の竪穴住居 弥生時代後期 中ごろの二重環濠を廻らす環濠集落

熊内遺跡　第３次調査　発掘調査報告書

２００３・０３・３１

発行　神戸市教育委員会文化財課
神戸市中央区加納町６丁目５番１号
TEL．078-322-6480

印刷　株式会社　旭成社
神戸市中央区若菜通５丁目１-16-280
TEL．078-222-5800（代）

神戸市広報印刷物登録　平成14年度第354号　（広報印刷物規格　Ａ－６類）

この冊子は再生紙を使用しています